

環境省中部環境パートナーシップオフィス運営業務
第5期(2018～2020年度)中間報告書

2020年12月
一般社団法人 環境創造研究センター

環境省中部環境パートナーシップオフィス運営業務
第5期(2018～2020年度)中間報告書

目
次

1. 第5期EPO中部の目標と方針

2. 第5期における主な取組

【方針①】「活動支援に資する主体・場・仕組みのデータ集」の作成・活用

【方針②】「活動見える化プログラム」の構築・検証

【方針③】「EPO中部・協働コーディネーター」の活用展開

【方針④】「SDGsチェックリスト」の作成・活用

その他の取組

3. 第5期の取組についての総括

① 3カ年取り組んだことによる成果

② 課題

③ 今後に向けて

1. 第5期EPO中部の目標と方針

第5期運営着手にあたり設定した3カ年の「目標」と「方針」

■目標

中部地方の協働・ESD・SDGsの活動支援に資するツールとシステムを構築し、活動の質と量を拡充するEPO中部としての方策を確立します。

■方針

- ESD/SDGsの意義とビジョン及びEPO中部の役割等、協働促進のための情報発信を継続的に行います。
 - EPO中部独自の協働・ESD・SDGsの活動支援ツール・システムとなる
 - ① 「活動支援に資する主体・場・仕組みのデータ集」の作成・活用
 - ② 「活動評価システム(活動効果やSDGs要素を可視化するシステム)」の構築・検証(※着手後に名称を「活動見える化プログラム」としており、本書でも以後はこの名称を用いた。)
 - ③ 「EPO中部・協働コーディネーター」の活用展開
 - ④ 「ESD/SDGsポイント」チェックリスト・ツールの作成・活用(※着手後に名称を「ESDのためのSDGsポイントチェックリスト」としており、本書では通称の「SDGsチェックリスト」の名称を用いた。)
- に「動機付け」と「見える化」を視点として取り組みます。
- 地域づくり活動に対する活動主体や中間支援組織等のニーズや課題を抽出する機会・場づくりを行い、ニーズ・課題等をEPO中部の業務へフィードバックします。

2. 第5期における主な取組

【方針①】 「活動支援に資する主体・場・仕組みのデータ集」の作成・活用

(1) 出展可能な環境イベントのリストの作成・公開

- 中部7県の自治体が主催する(実行委員会方式含む)環境イベントで、NPO等民間団体が出展可能なイベントの抽出作業を2018年度に行い、その開催時期、出展応募要領、問合せ先などの整理を行った。
- データの精査・確認作業を経て、中部の自治体主催イベント・リストを作成した。
- リストには計178件のイベントを掲載した。

【実施結果】

- このイベント・リストは2020年3月に、EPO中部Webサイトで公開している。
- また、EPO中部が中間支援、伴走支援を行ってきた事業や主体に対し、事業・活動の普及啓発を展開する際には、本リストを提供し、活用してもらっている。

(例:2019年度同時解決事業の採択団体が長野県イベントでログファイヤーの展示を行った。)

掲載イベント数

調査時点→	2019年12月
富山県	11
石川県	8
福井県	12
長野県	26
愛知県	69
岐阜県	32
三重県	20
計	178

中部エリアの《NPO等の出展可能なイベントリスト》をご活用ください

中部7県(富山県、石川県、福井県、長野県、愛知県、岐阜県、三重県)の地域活動団体等(主催者以外の団体)による出展が可能な《環境関連イベントリスト》を作成しましたので紹介します。
地域活動や環境取組などをPRする場などをお探しの際にご活用ください。

- ▶ 富山県内のイベント [PDF/90KB]
- ▶ 石川県内のイベント [PDF/87KB]
- ▶ 福井県内のイベント [PDF/268KB]
- ▶ 長野県内のイベント [PDF/139KB]
- ▶ 愛知県内のイベント [PDF/374KB]
- ▶ 岐阜県内のイベント [PDF/135KB]
- ▶ 三重県内のイベント [PDF/115KB]

▼リストのサンプル例(長野県)のリスト

開催日時	開催場所	主催者	出展可能団体	出展料	問い合わせ先	備考
2019年12月14日(土) 10:00-16:00	長野県庁 3F 会議室	長野県環境政策推進センター	環境関連団体	無料	026-227-1111	環境政策推進センター主催のイベントです。
2019年12月15日(日) 10:00-16:00	長野県庁 3F 会議室	長野県環境政策推進センター	環境関連団体	無料	026-227-1111	環境政策推進センター主催のイベントです。
2019年12月16日(月) 10:00-16:00	長野県庁 3F 会議室	長野県環境政策推進センター	環境関連団体	無料	026-227-1111	環境政策推進センター主催のイベントです。
2019年12月17日(火) 10:00-16:00	長野県庁 3F 会議室	長野県環境政策推進センター	環境関連団体	無料	026-227-1111	環境政策推進センター主催のイベントです。
2019年12月18日(水) 10:00-16:00	長野県庁 3F 会議室	長野県環境政策推進センター	環境関連団体	無料	026-227-1111	環境政策推進センター主催のイベントです。
2019年12月19日(木) 10:00-16:00	長野県庁 3F 会議室	長野県環境政策推進センター	環境関連団体	無料	026-227-1111	環境政策推進センター主催のイベントです。
2019年12月20日(金) 10:00-16:00	長野県庁 3F 会議室	長野県環境政策推進センター	環境関連団体	無料	026-227-1111	環境政策推進センター主催のイベントです。
2019年12月21日(土) 10:00-16:00	長野県庁 3F 会議室	長野県環境政策推進センター	環境関連団体	無料	026-227-1111	環境政策推進センター主催のイベントです。
2019年12月22日(日) 10:00-16:00	長野県庁 3F 会議室	長野県環境政策推進センター	環境関連団体	無料	026-227-1111	環境政策推進センター主催のイベントです。
2019年12月23日(月) 10:00-16:00	長野県庁 3F 会議室	長野県環境政策推進センター	環境関連団体	無料	026-227-1111	環境政策推進センター主催のイベントです。
2019年12月24日(火) 10:00-16:00	長野県庁 3F 会議室	長野県環境政策推進センター	環境関連団体	無料	026-227-1111	環境政策推進センター主催のイベントです。
2019年12月25日(水) 10:00-16:00	長野県庁 3F 会議室	長野県環境政策推進センター	環境関連団体	無料	026-227-1111	環境政策推進センター主催のイベントです。
2019年12月26日(木) 10:00-16:00	長野県庁 3F 会議室	長野県環境政策推進センター	環境関連団体	無料	026-227-1111	環境政策推進センター主催のイベントです。
2019年12月27日(金) 10:00-16:00	長野県庁 3F 会議室	長野県環境政策推進センター	環境関連団体	無料	026-227-1111	環境政策推進センター主催のイベントです。
2019年12月28日(土) 10:00-16:00	長野県庁 3F 会議室	長野県環境政策推進センター	環境関連団体	無料	026-227-1111	環境政策推進センター主催のイベントです。
2019年12月29日(日) 10:00-16:00	長野県庁 3F 会議室	長野県環境政策推進センター	環境関連団体	無料	026-227-1111	環境政策推進センター主催のイベントです。
2019年12月30日(月) 10:00-16:00	長野県庁 3F 会議室	長野県環境政策推進センター	環境関連団体	無料	026-227-1111	環境政策推進センター主催のイベントです。
2019年12月31日(火) 10:00-16:00	長野県庁 3F 会議室	長野県環境政策推進センター	環境関連団体	無料	026-227-1111	環境政策推進センター主催のイベントです。

【リストに掲載したイベントについてのご注意】
リストは、2019年12月時点でEPO中部が検索を行い、下記3項目に該当しているイベントを抽出・整理したものです。
●中部7県の各市町村等の自治体が主催している、または主催団体等に関連している。
●イベントのテーマが環境に関連している・含まれている(環境関連のコーナーなどがある)。
●過去の開催で、NPO・NGO等の主催者以外の地域団体によるブース出展コーナーが設けられていたことがある。

※リスト掲載のURLは、検索時点に閲覧可能だったウェブサイト・ページです。
※各イベントの詳細は、リストに掲載のそれぞれの「問合せ先」におたずねください。
※イベントの追加、訂正・削除については、office@epo-chubu.jp へお知らせいただけます。

【方針①】 「活動支援に資する主体・場・仕組みのデータ集」の作成・活用

(2) 過去報告書のアーカイブ化

- EPO中部が過去に作成してきた業務報告書をリスト化、データ化し、この活用方法についての検討を行った。
- 運営会議やEPO中部・協働コーディネーターからの提案をうけ、EPO中部Webサイトでアーカイブ公開を行うことになった。

【実施予定】

- 2020年12月のEPO中部Webサイトのリニューアルと併せて公開予定である。

公開する報告書の数

報告書の種類	数
EPO中部運営業務報告書	22
ESD関連業務報告書	24
協働推進事業・協働加速化事業等報告書	29
計	75

環対課所有 CD・DVD一覧表

整理No.	枚数	種別	名称	制作者
EPO-01	4	1	EPO 平成17年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務報告書(9月期) (4枚所有)	NPO法人ボランティアネイバーズ
EPO-02	1	1	EPO 平成17年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務報告書(10-12月期) (10-12月期) (1枚所有)	NPO法人ボランティアネイバーズ
EPO-03	2	1	EPO 平成17年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務報告書(1-3月期) (2枚所有)	NPO法人ボランティアネイバーズ
EPO-04	2	1	EPO 平成19年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務報告書(4-6月期) (2枚所有)	NPO法人ボランティアネイバーズ
EPO-05	2	1	EPO 平成19年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務報告書(7-9月期) (2枚所有)	NPO法人ボランティアネイバーズ
EPO-06	2	1	EPO 平成19年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務報告書(10-12月期) (2枚所有)	NPO法人ボランティアネイバーズ
EPO-07	2	1	EPO 平成19年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務報告書(1-3月期) (2枚所有)	NPO法人ボランティアネイバーズ
EPO-08	2	1	EPO 平成20年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務報告書(第1四半期分) (2枚所有)	NPO法人ボランティアネイバーズ
EPO-09	1	1	EPO 平成20年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務報告書(第2四半期分)	NPO法人ボランティアネイバーズ
EPO-10	1	1	EPO 平成20年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務報告書(第3四半期分)	NPO法人ボランティアネイバーズ
EPO-11	1	1	EPO 平成20年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務報告書(第4四半期分)	NPO法人ボランティアネイバーズ
EPO-12	2	1	EPO 平成21年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務年報報告書 (2枚所有)	NPO法人ボランティアネイバーズ
EPO-13	2	1	EPO 平成22年度中部環境パートナーシップオフィス1~4半期・年間 業務実施報告書 (2枚所有)	NPO法人ボランティアネイバーズ
EPO-14	2	1	EPO 平成23年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務報告書(2枚所有)	NPO法人ボランティアネイバーズ
EPO-15	2	1	EPO 平成23年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務ESD関係事業報告書 ESDフォーラム2011(2枚所有)	NPO法人ボランティアネイバーズ
EPO-16	2	1	EPO 平成24年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務 四半期報告書及び年間報告書(2枚所有)	NPO法人ボランティアネイバーズ
EPO-17	2	1	EPO 平成25年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務 四半期報告書及び年間報告書(2枚所有)	NPO法人ボランティアネイバーズ
EPO-18	2	1	EPO 平成26年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務 四半期報告書及び年間報告書(2枚所有)	NPO法人ボランティアネイバーズ
EPO-19	2	1	EPO 平成27年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務 報告書(2枚所有)	NPO法人ボランティアネイバーズ
EPO-20	2	1	EPO 平成28年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務 報告書(2枚所有)	NPO法人ボランティアネイバーズ
EPO-21	2	1	EPO 平成29年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務 報告書(2枚所有)	NPO法人ボランティアネイバーズ
EPO-22	2	1	EPO 平成30年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務 報告書(2枚所有) ※190328予定	一般社団法人環境創造研究センター
ESD-01	2	1	ESD 平成18年度国連持続可能な開発のための教育の10年促進事業 (2枚所有)	H19/3/23 韓国立製作所
ESD-02	2	1	ESD 平成19年度国連持続可能な開発のための教育の10年促進事業 (2枚所有)	韓国立製作所
ESD-03	2	1	ESD 平成20年度ESD普及促進/フレットデザイン業務 (SUSTAINABLE BOOK 未来を創るための本)	NPO法人ボランティアネイバーズ
ESD-04	2	1	ESD 平成21年度北陸における里山保全とESD普及促進支援業務(2枚所有)	金沢大学
ESD-05	2	1	ESD 平成21年度中部地方における環境協働政策に関する検討業務(2枚所有)	NPO法人ボランティアネイバーズ
ESD-06	2	1	ESD 平成21年度東海における環境保全活動とESD普及支援業務報告書・業務報告書要約 (2枚所有)	NPO法人ボランティアネイバーズ
ESD-07	2	1	ESD 平成21年度中部地方におけるESD交流フォーラム運営業務 (2枚所有)	NPO法人ボランティアネイバーズ
ESD-08	1	1	ESD 平成23年度改正環境教育推進法の意見交換開催業務 実施報告書	NPO法人ボランティアネイバーズ
ESD-09	2	1	ESD 平成23年度「国連持続可能な開発のための教育の10年」最終年会に向けた地域におけるESD活動展開業務報告書	環境省
ESD-10	2	1	ESD 平成24年度 ESD推進のための環境学習施設ネットワーク会議実施業務(環境教育業務セミナー)	(社)日本環境教育フォーラム
ESD-11	1	1	ESD 平成24年度 ESD推進のための環境学習施設ネットワーク会議実施業務 環境教育等実務者ミーティング	(社)日本環境教育フォーラム
ESD-12	4	1	ESD 平成25年度 中部地域人材育成ESD環境教育 報告書	
ESD-14	2	1	ESD 平成26年度ESDユネスコ世界会議関連フォーラム運営等業務	NPO法人ボランティアネイバーズ
ESD-15	1	1	ESD 平成28年度「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」開催するフェローシップ会合における職業実務者(中報)	NPO法人ボランティアネイバーズ
ESD-16	1	1	ESD 平成26年度ESDユネスコ世界会議報告会inあいち・なごや運営補助業務	協/フルハブ環境創造研究所
ESD-17	1	1	ESD 平成26年度ESDユネスコ世界会議報告会in長野	みどりの市民

(3) SNS活用による情報発信

- 2019年5月に、EPO中部／中部地方ESD活動支援センターのFacebookページを開設した。
- 2020年11月時点の「いいね」が54人、「フォロー中」が61人となっている。

【実施結果】

- 「いいね」「フォローする」といったリアクションの数は少ないが、Facebookページの開設以降、特にEPO中部Webサイトのアクセス数が開設前の2018年度以前に比べて大きく増加した。

EPO中部／中部地方ESD活動支援センターの
Facebookページ
(<https://www.facebook.com/EPOchubu>) →



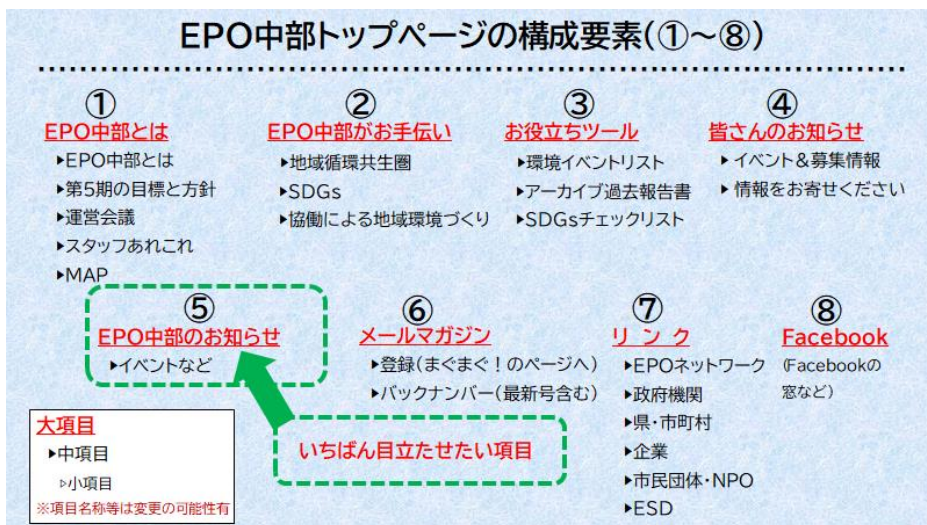
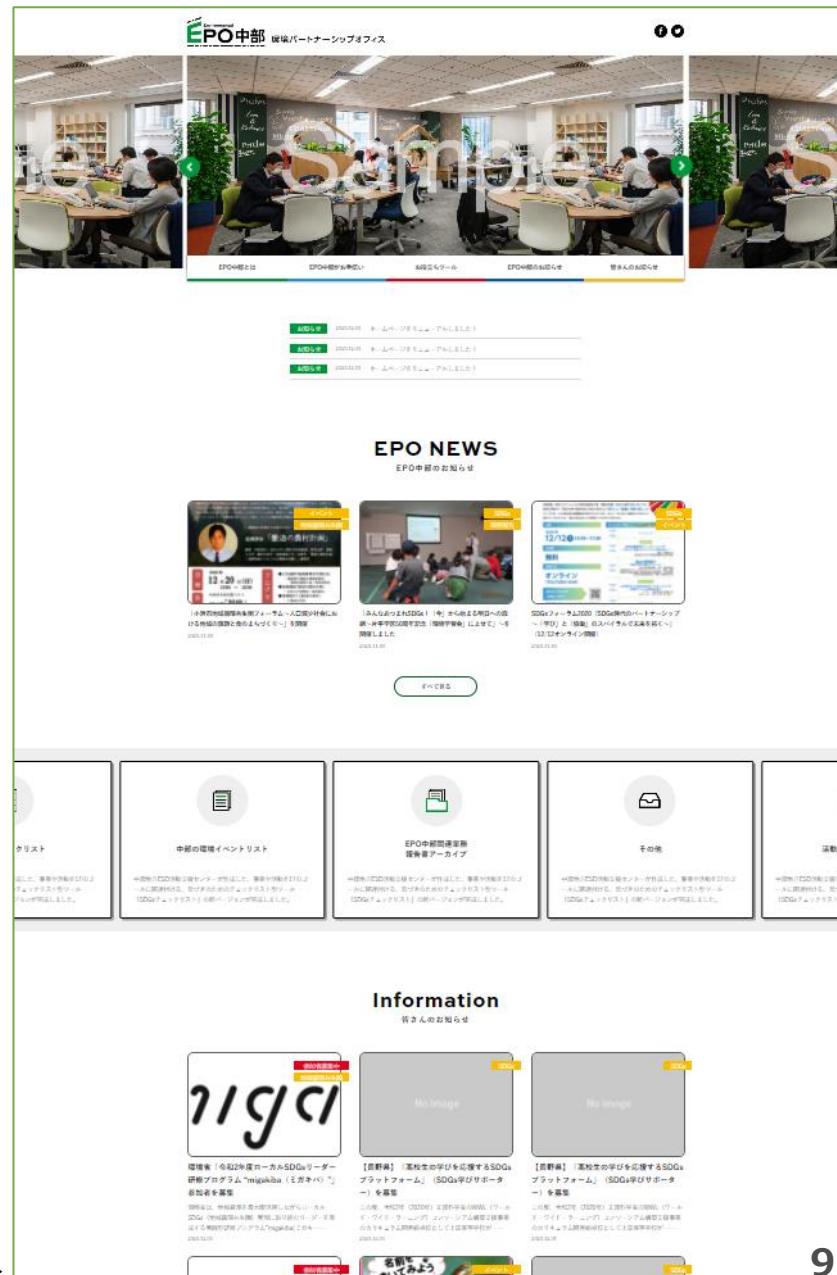
【方針①】 「活動支援に資する主体・場・仕組みのデータ集」の作成・活用

(4) Webサイトのリニューアル

- 2020年12月にEPO中部Webサイトをリニューアル公開する予定である。(※URLは変更なし。)

【実施予定】

- 「地域循環共生圏」「SDGs」を明示するコーナーや、今期5期に作成したイベントリストや過去報告書アーカイブなど各種ツールの公開ページを新たに設置する。
- また、「見える化プログラム」の分析チャート等を活用した地域循環共生圏、SDGs事例を紹介し、サイト内で事例蓄積を行うことも目指している。



リニューアルサイトのデザイン検討案(2020年11月時点)→

【方針②】「活動見える化プログラム」の構築・検証

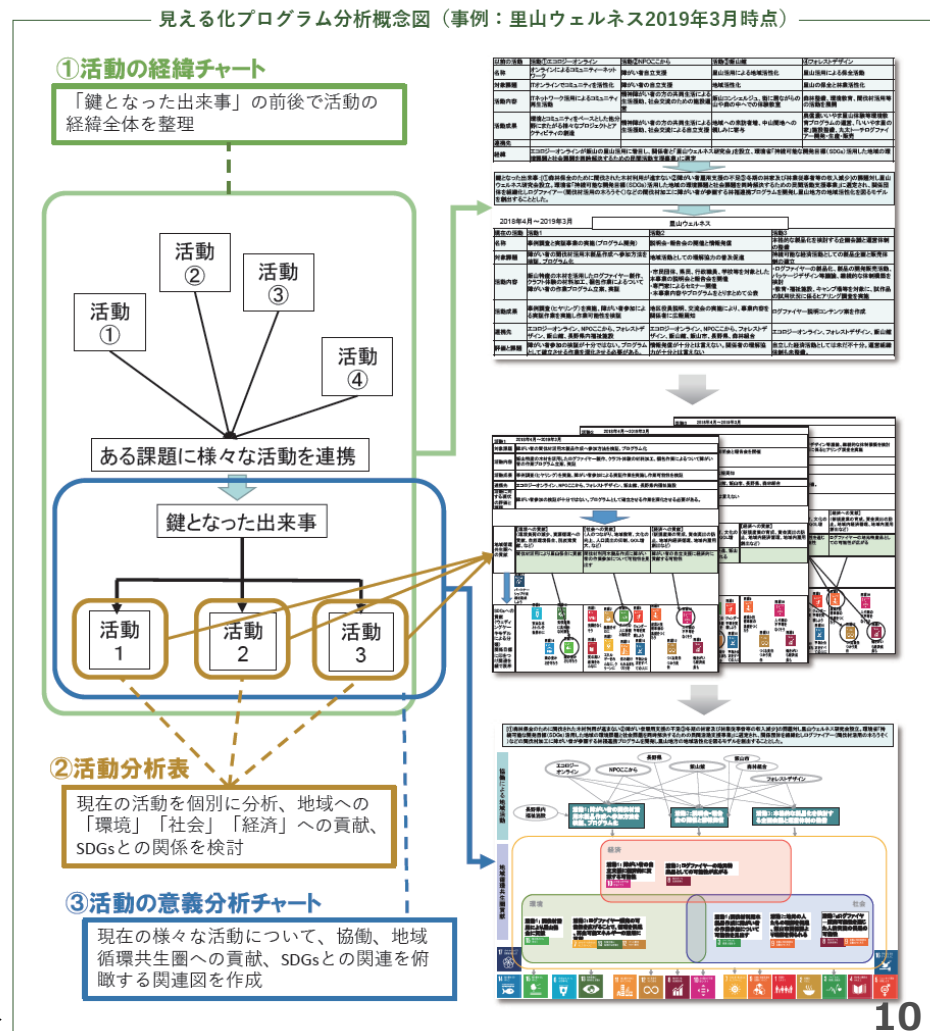
(1)「活動見える化プログラム」の構築

- 2018年度から、協働取組の事業・活動や取組主体を対象に、取組内容・経緯・関連ステークホルダーをチャート図に整理する「活動見える化プログラム」の構築に取り組んだ。
- 2018年度・2019年度に計7事例のケーススタディを実施し、改良を重ねながら2020年度に構築した分析結果チャート図を一つの完成形とした。

【実施結果】

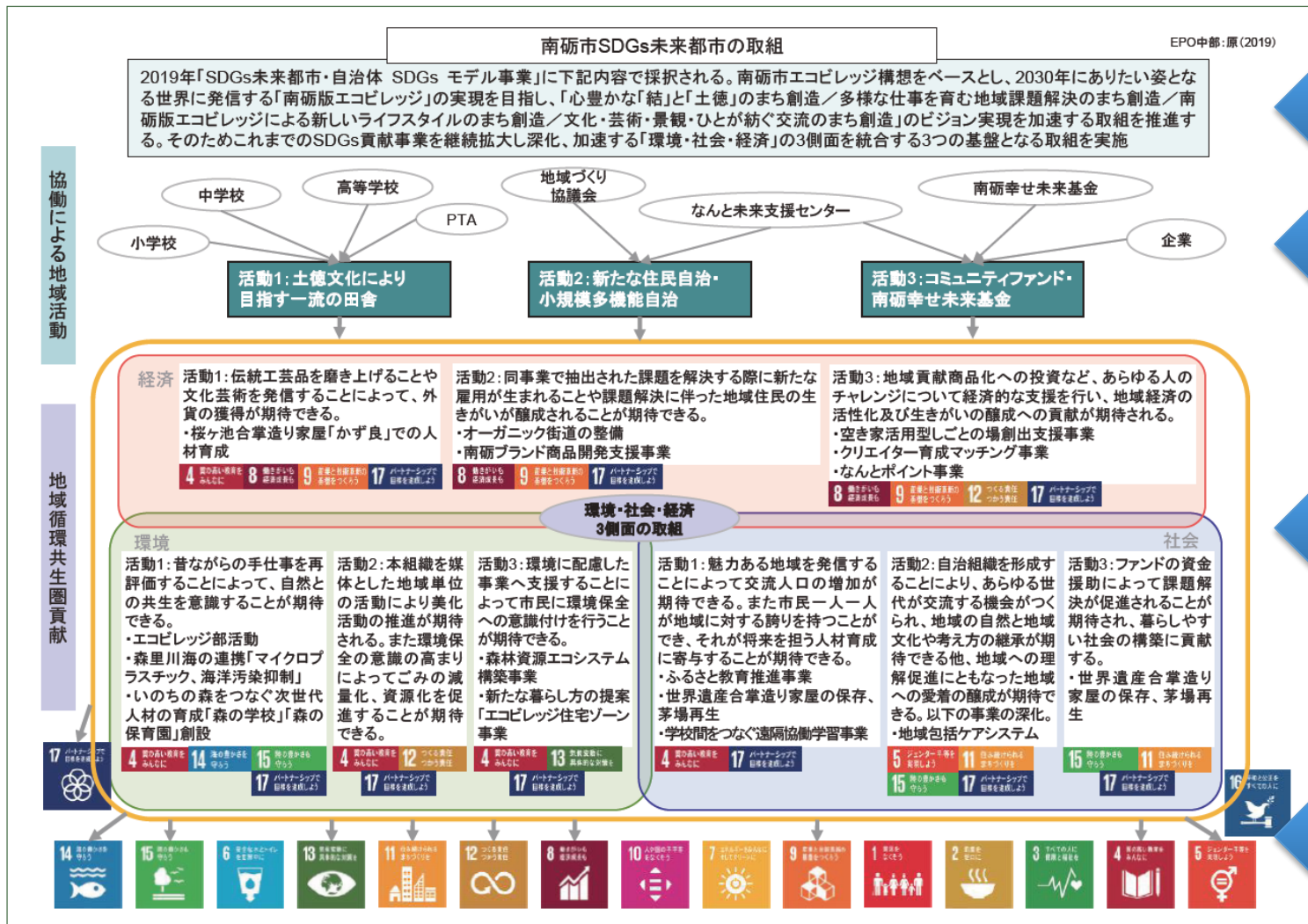
- 2020年度は「活動見える化プログラム」を地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業の採択団体においても作成し、意見交換会で取組内容の説明・紹介、地域循環共生圏やSDGsとの関連要素の説明などに活用した。
- EPO中部Webサイトのリニューアルに際し、「活動見える化プログラム」を活用した地域循環共生圏の事例を紹介し、またサイト内での事例蓄積に活用していく予定である。

「協働による地域循環共生圏づくり」パンフレットより→



活動見える化プログラムのチャート図：富山県南砺市

▼事例3「南砺市版エコビレッジ事業の更なる深化～域内外へのブランディング強化と南砺版地域循環共生圏の実装～」の分析チャート



取組・活動の全体の概要

協働するステークホルダーとその取組・活動

地域循環共生圏としての貢献性

SDGsとの関連性

↑ 2019年度に作成した南砺市エコビレッジ事業のチャート図

- ・ 事業主体である南砺市から、住民説明用に活用したいとの依頼を受けて作成した。
- ・ このチャート図では、「これまでの取組結果」ではなく、「これからの取組による構想」を整理した図となっている。

(2) 同時解決事業における活用

- 2018～2019年度に実施した環境省の「SDGsを活用した地域の環境・社会・経済課題の同時解決事業」(以下、同時解決事業)に採択された里山ウェルネス研究会による「飯山林福連携事業」においても「活動見える化プログラム」を作成、活用した。

【実施結果】

- 同時解決事業では活動見える化プログラムの分析チャートを一年目、二年目にそれぞれ作成し、活動とステークホルダーの拡がりなどの変化を明示することができた。
- 2020年2月に開催された同時解決事業の全国成果発表会においても、チャート図をパネル、配布資料にして、飯山林福連携事業の説明に活用した。また、チャート図を見た別の採択団体から、「活動見える化プログラムの作成アプリはないのか、あったら使いたい」と質問された。
- 飯山林福連携事業のステークホルダーとして参画していた飯山市の林務、福祉等関係部署にチャート図を提示し、資料として配布したところ、「庁内で事業について説明する際に困っていたが、このチャート図があれば説明しやすくなるため助かる」とコメントされていた。



同時解決事業・全国成果発表会
の中部ブースで「活動見える化
プログラム」を掲示・配布

活動見える化プログラムの活用：同時解決・飯山林福連携事業

活動の意義（評価）
分析チャート

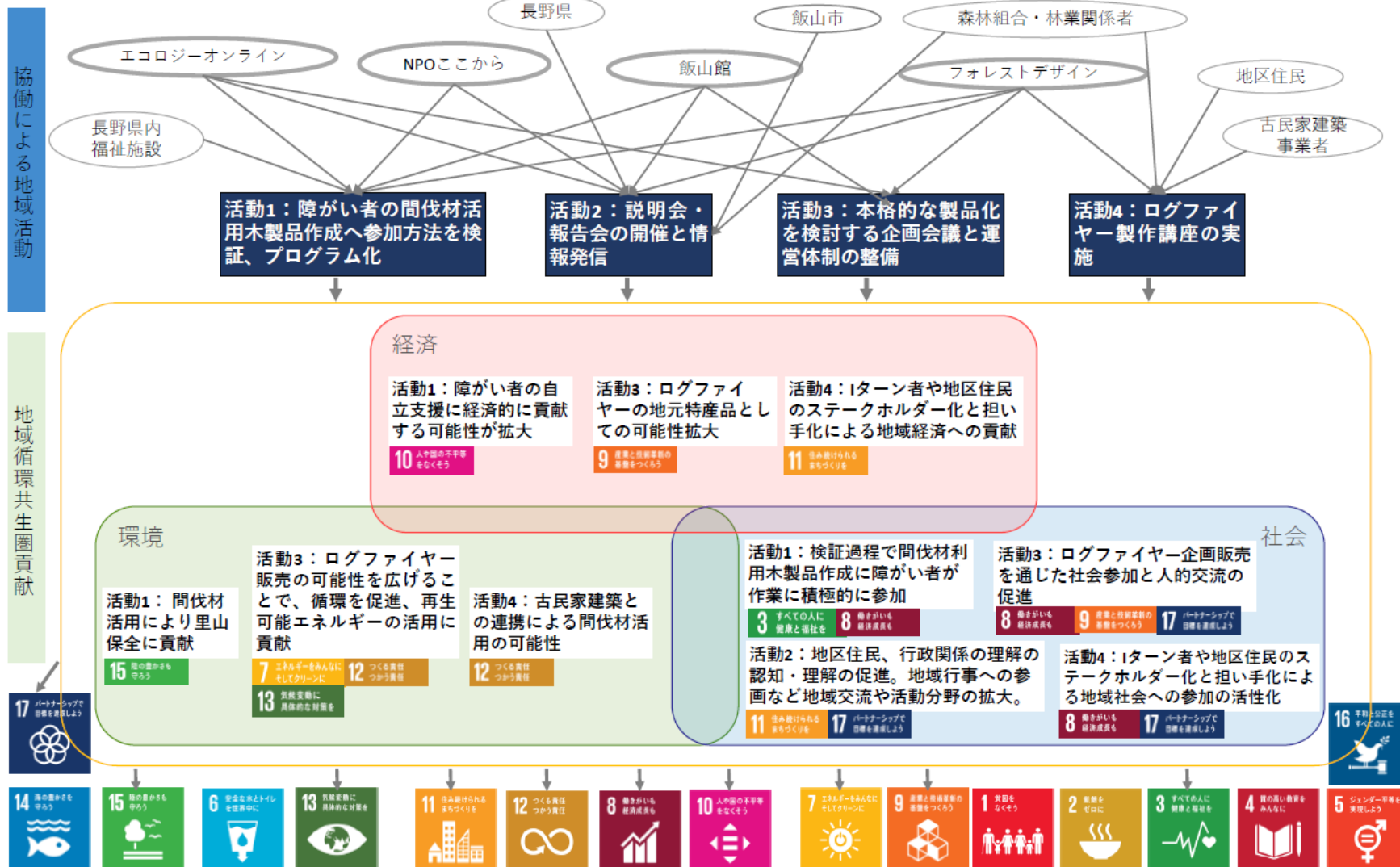
里山保全体験を通じた 障がい者雇用促進を目指すプログラム事業

2018年4月～2019年12月

EPO中部：原（2019）

里山ウェルネス

【①森林保全のために間伐された木材利用が進まない②障がい者雇用支援の不足③冬期の林家及び林業従事者等の収入減少】の課題に対し里山ウェルネス研究会を設立。環境省「持続可能な開発目標（SDGs）を活用した地域の環境課題と社会課題を同時解決するための民間活動支援事業」に選定され、関係団体を組織化しログファイアー（間伐材活用の木ろうそく）などの間伐材加工に障がい者が参画する林福連携プログラムを開発し里山地方の地域活性化を図るモデルを創出することとした活動を推進。



(3) 地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業における活用

- 2020年度に、環境省の地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業への支援がEPO業務となったことから、希望する中部の採択団体(2020年度の中部採択団体は5団体)の活動見える化プログラムのチャート図を作成することとした。
- どの時点の取組・事業をチャート図にし、どのように活用するかなどの団体の意向を聴取した上で作成することになった。

【実施結果】

- PF事業の5採択団体のうち、2020年12月時点で2団体のチャート図を作成した。年度内に、5団体すべてのチャートを作成する予定である。
- 既にチャート図が完成している2団体は、PF小布施(北信スマートテロワール協会)、PF尾鷲(おわせSEAモデル協議会)で、どちらもプラットフォーム事業の一環で実施することになっている「意見交換会」において活用した。
- PF小布施は、PFの関連11プロジェクトを順に報告する会合で活用した。活動状況をチャート図で一覧できることから、参加者のみでなく、プロジェクト推進者自身やPF事務局も取組状況を確認し、事業の持続化や採算性についての議論・情報交換を行うことができた。
- PF尾鷲は、事業への参画・進出が考えられる企業とPFとの意見交換会において、同事業が地域循環共生圏づくり、SDGsにどのような関連性・貢献性を有しているか説明する資料として活用し、SDGsに関心の高い企業への事業参画を促す呼びかけを行った。

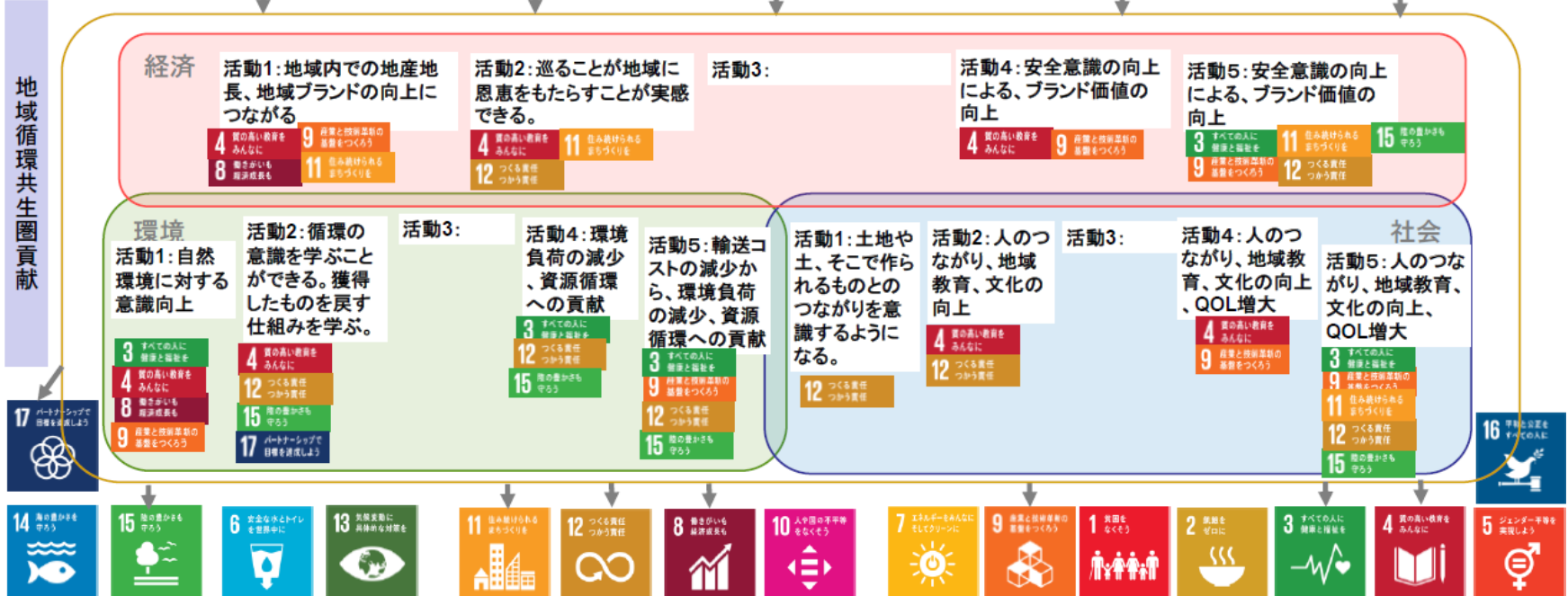
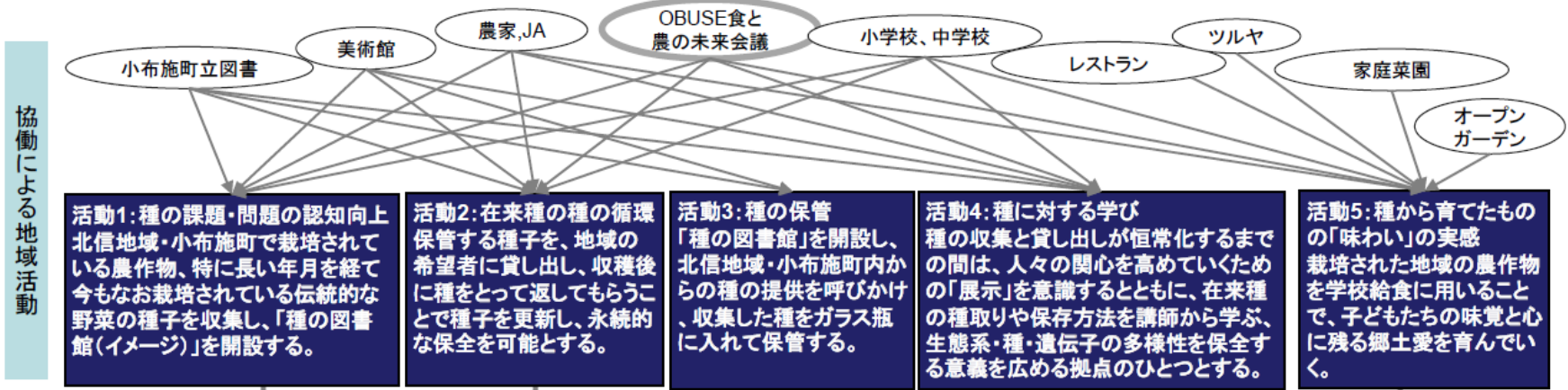
「活動見える化プログラム」の活用：PF事業・北信スマートテロワール

活動の意義(評価)分析チャート
201021分析案

種の図書館プロジェクト

将来の活動展開時点

測不可能に変化していく環境下において、北信地域・小布施町で生存することができる生態系・種・遺伝子の多様性を永続的に保全することが、地域および人類の未来へと続いている。そこで、在来種を含む一般品種を保全することを目指し、「種の図書館」を構想する。



EPO中部：原(2020)

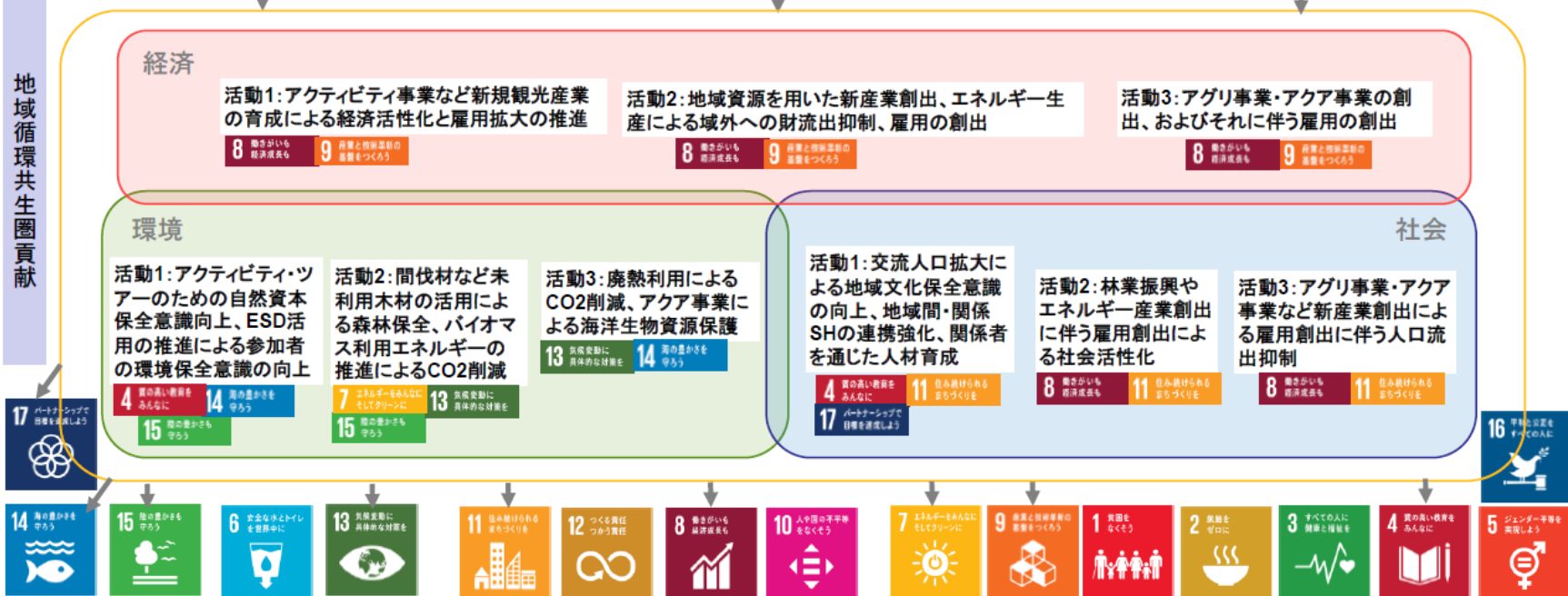
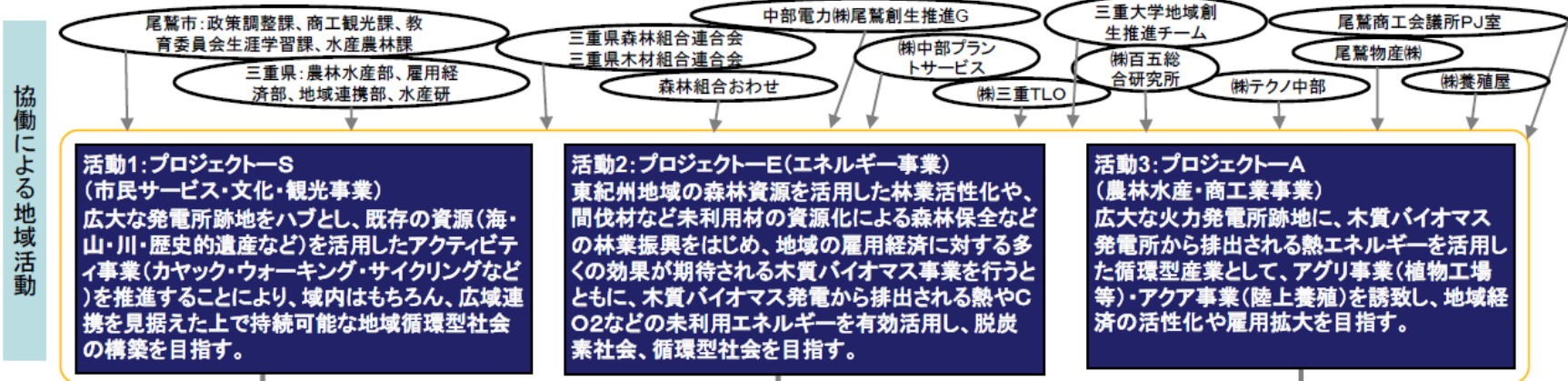
「活動見える化プログラム」の活用：PF事業・おわせSEAモデル

活動の意義(評価)分析チャート
200915分析案

おわせSEAモデル

2020年4月時点

中部電力の尾鷲三田火力発電所が平成30年12月に発電設備が廃止され、更なる尾鷲市における産業の空洞化や人口の減少が想定されるとともに、廃止された尾鷲三田火力発電所の跡地を活用した地域活性化施策の実現が課題となった。そこで尾鷲市、尾鷲商工会議所および中部電力が、尾鷲三田火力発電所の跡地を「新たなエネルギー」と「豊かな自然の力」で、産業、観光、市民サービスを融合した拠点として、人々が集い活気あふれる「ふるさと尾鷲」を目指すこととした。



EPO中部：原(2020)

(4) 事例の蓄積ツールとしての活用・公開

- 2020年度に全面リニューアルを行うEPO中部webサイトに、「活動見える化プログラム」及び「地域循環共生圏」のページを新設する。
- 新サイトで「活動見える化プログラム」を活用した様々な支援方法の提案を行う。
- 同時に、作成したチャート図を公開することにより、(EPO中部が支援に関わった)地域循環共生圏やSDGsの中部における具体の事例を掲載・紹介し、その事例をサイト内に蓄積していく予定である。

【実施予定】

- 「活動見える化プログラム」や「SDGsチェックリスト」を公開することにより、リニューアル後のウェブサイトをEPO中部による地域活動支援のためのポータルサイトとし、将来的には蓄積した事例のデータベース化も目指した展開も可能になるよう、サイトの整備を図る。

お役立ちツール

協働コーディネーター
パンフレット

中部地方ESD活動支援センターが作成した、事業や活動を17のゴールに関連付ける、気づきのためのチェックリスト型ツール「SDGsチェックリスト」の新バージョンが完成しました。

「活動見える化プログラム」
事例紹介

中部地方ESD活動支援センターが作成した、事業や活動を17のゴールに関連付ける、気づきのためのチェックリスト型ツール「SDGsチェックリスト」の新バージョンが完成しました。

※EPO中部リニューアルサイトのテスト版(2020年11月時点修正過程のもの)

EPO中部とは EPO中部がお手伝い お役立ちツール 皆さんのお知らせ

地域循環共生圏

SDGs

協働による地域環境づくり

お知らせ 2020.11.10 そらいろ通信～EPO-Chubuメールマガジン～【バックナンバー】

【方針③】 「EPO中部・協働コーディネーター」の活用展開

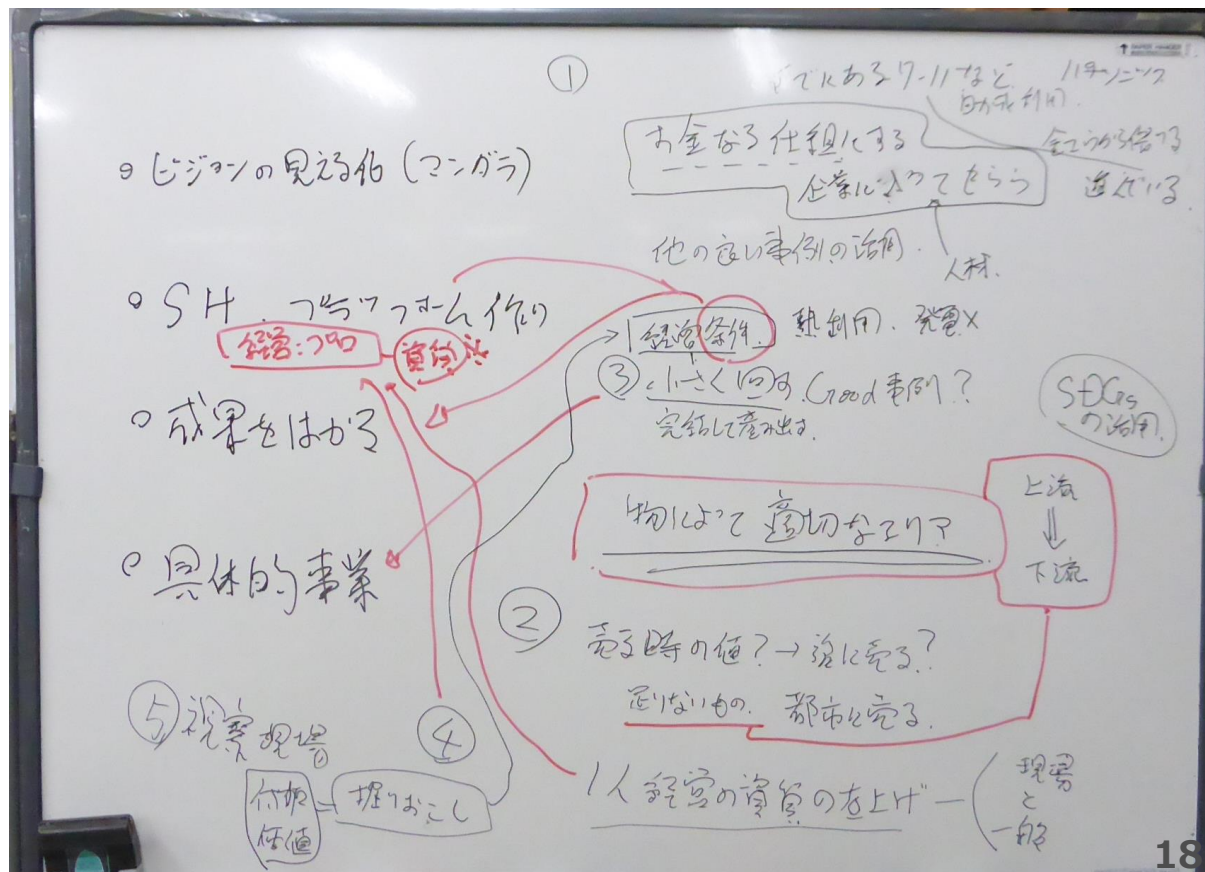
(1) 協働コーディネーター会議・会合の開催

- 第4期にEPO中部に協力・連携していた協働コーディネーターのうち、第5期以降も協力可能なコーディネーター16名によるネットワーク会議を開催した。
- 2018年度は地域環境活動における協働促進を目的に、協働コーディネーターのあり方について検討を行う連絡会を3回開催し、2019年度は地域循環共生圏づくりの促進を目的とした研究会を3回開催した。

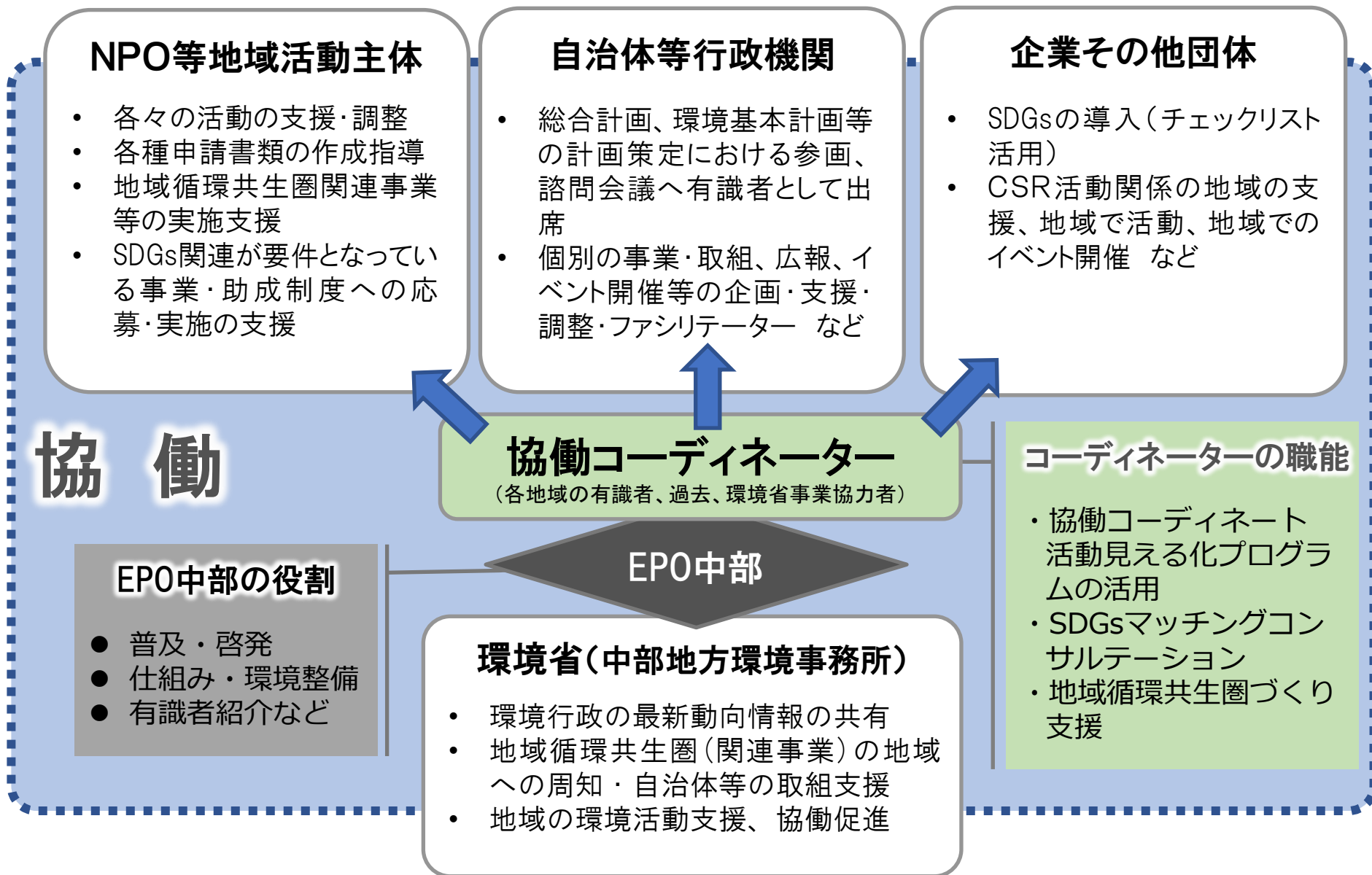
【実施結果】

- 2年間の検討結果をうけて、2020年度はEPO中部・協働コーディネーターを、地域循環共生圏づくりの「活動者」と位置づけ、そのネットワークを各コーディネーターの本業に活かせる範囲でEPO中部による地域循環共生圏づくり支援に連携・協力することになった。

2019年度第2回研究会の地域循環共生圏づくりディスカッションのホワイトボード；取組地域・主体側の課題を抽出・整理 →



【検討結果】協働コーディネーター活用展開イメージ



【方針③】 「EPO中部・協働コーディネーター」の活用展開

(2) 協働コーディネーター紹介ツールの作成・公開

- 2018年度にEPO中部・協働コーディネーターと活動見える化プログラムを紹介する冊子を作成し、2019年度にその改訂版を作成・発行した。
- 冊子はEPO中部webサイトで公開しているほか、コーディネーターには配布した。

【実施結果】

- 協働コーディネーターが自治体等と協働・連携する際、本冊子を提示し、EPO中部・協働コーディネーターとしての自己紹介に活用している。



【方針③】 「EPO中部・協働コーディネーター」の活用展開

(3) 協働コーディネーター連携事業の展開

- EPO中部・協働コーディネーターについては、EPO主催イベントでの登壇・ファシリテーター、活動見える化プログラム構築のケーススタディ実施、SDGsチェックリストの検証ワークショップでのファシリテーターなど、第5期のEPO業務において多々の協力・連携取組を展開している。

【実施結果】

- 富山県…2018年度から協働コーディネーターの堺氏が所属する環境市民プラットフォーム(PECとやま)と連携し、SDGsの普及・啓発事業を展開しており、3年目となる2020年度はその集大成となるSDGs実践セミナー、3年間の成果報告会を開催した。
- 福井県小浜市…2020年度に、協働コーディネーターの中畠氏の協力により、小浜市で先進的に展開されてきた「食のまちづくり」をテーマにした地域循環共生圏づくりを目指し、EPO中部との連携事業を実施している。

EPO中部・PECとやま presents
地域におけるSDGs実践セミナー2019

地球温暖化や貧困、紛争など、人類の生存・繁栄を脅かす世界的な課題を、全人類が協力して統合的に解決しようとする世界共通の行動目標SDGsは「スリーズ」(持続可能な開発目標)。

地域においてはどのような実践が必要なのか、環境省が提示する「地域循環共生圏」と「同時解決事業」という2つテーマを取り上げて、富山県内2カ所(南砺市、黒部市)にて事例と共に学びます。

参加費 無料 SDGsの実践について学びたい 地産・地消地域の発展、企業、団体、一般の方

～「地域循環共生圏」と「同時解決事業」をテーマに～

2019年 8月26日(月) 13:30～16:30 地域循環共生圏
講師: 南砺市クリエイターフラッグプロジェクト 代表 渡部厚志
講師: 黒部市 長井一浩

2019年 11月28日(木) 13:30～16:30 同時解決事業
講師: 立山環境ジョイオー交流施設 代表 長井一浩

主催: EPO中部 協働コーディネーター 中畠 真由美
協賛: 富山県環境政策推進課、南砺市、黒部市、PECとやま

『総合的な探究の時間』におけるSDGs教育

2020年 8月20日(木) 13:30～16:30
富山県共生センター サンプルテ 307室

2020年度までの世界共通の行動目標SDGsは「スリーズ」(持続可能な開発目標)をテーマにした探求学習を推進する方法について学びます。

講師: 佐藤 久良

主催: EPO中部 協働コーディネーター 中畠 真由美
協賛: 富山県環境政策推進課、南砺市、黒部市、PECとやま

令和2年度 小浜市地域循環共生圏フォーラム

人口減少社会における地域の課題と食のまちづくり

2008年をピークに日本の人口は減少になり、2020年には人口が約1億以下になると予測されています。小浜市でも今年3月に公表された人口推計が示すように、人口減少は「人口減少社会」(人口減少により、人口減少が地域の発展を妨げること)を目的としたまちづくりと同時に、成長として働く若い世代の定住を促すことにより、まちづくりの推進を図りたいと考えています。そこで、持続可能な地域の姿や未来を模索してまいります。

基調講演 「撤退の農村計画」
講師: 林直廣氏 / 金沢大学人間科学系准教授、研究分野 農学、土壌学、農村計画学、地域環境工学、計画学、「撤退の農村計画～遠隔地からほじまる戦略的再編～」 編著者

日時: 2020年 12月20日(日) 13:00～16:00
会場: 小浜市小浜白鹿 111-1 まちの駅「旭座」 定員40名 ※申込み先着順

プログラム:
● 主旨説明「地域循環共生圏とは」
● 基調講演「撤退の農村計画」
● 事例紹介「上里家の歩み」
● パネルディスカッション

申込み: 小浜市市民活動交流センター 中央公民館内 (小浜市大手町5-31) 業務時間(火曜～日曜) 9:00～17:00 TEL/0770-52-7837 FAX/0770-53-1336

参考) 2019年度における協働コーディネーターとの連携取組

EPOの取組への協力内容		協力した協働コーディネーター
1	8月・11月に富山県内で「SDGs実践セミナー」の開催(2回開催)の共催協力(テーマ:地域循環共生圏／同時解決)	<ul style="list-style-type: none"> □ 堺勇人氏(環境市民プラットフォームとやま)
2	8月に石川県金沢市で開催したEPO主催フォーラムに登壇して協働取組の事例紹介	<ul style="list-style-type: none"> □ 中嶋阿児氏(NPO法人 WACおばま) □ 茶木勝氏(株式会社ティー・ツリー・コミュニケーションズ)
3	11月に長野県飯山市で開催したEPO主催フォーラムで里山活用プロジェクト「森カフェ」開催協力	<ul style="list-style-type: none"> □ 山田勇氏(NPOわおん) →ほかのコーディネーターによる里山をテーマにした活動で「森カフェ」連携展開などあり
4	「地域循環共生圏づくり取組事例ヒアリング」業務で対象事例の活動者としてヒアリングに協力	<ul style="list-style-type: none"> □ 茶木勝氏(株式会社ティー・ツリー・コミュニケーションズ) □ 河合良太氏(泉京・垂井、地域の未来・志援センター)
5	1月開催「地域循環共生圏づくりセミナー」でファシリテーター協力	<ul style="list-style-type: none"> □ 坂本竜児氏(NPOエコデザイン市民社会フォーラム) □ 河合良太氏(泉京・垂井、地域の未来・志援センター) □ 三田村佳政氏(水辺と生き物を守る農家と市民の会事務局) □ 山室秀俊氏(長野県NPOセンター)
6	(※ESDセンター業務)	<ul style="list-style-type: none"> □ 坂本竜児氏(NPOエコデザイン市民社会フォーラム) □ 蒲和宏氏(「なごや環境大学」実行委員会)
	「SDGsチェックリスト」活用ワークショップにファシリテーター協力	<ul style="list-style-type: none"> □ 坂本竜児氏(NPOエコデザイン市民社会フォーラム) □ 蒲和宏氏(「なごや環境大学」実行委員会) □ 河合良太氏(泉京・垂井、地域の未来・志援センター)
	西濃環境NPOネットワーク・ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> □ 坂本竜児氏(NPOエコデザイン市民社会フォーラム) □ 中嶋阿児氏(NPO法人 WACおばま) □ 河合良太氏(泉京・垂井、地域の未来・志援センター)

【方針④】 「SDGsチェックリスト」の作成・活用

(1) 「SDGsチェックリスト」の作成

- 地域の活動団体等が自らの活動を振り返り、チェックして、SDGsに対する立ち位置を確認できるツールとして「SDGsチェックリスト(ESDのためのSDGsポイントチェックリスト)」を2018年度に作成した。
- 作成に際しては、ESDとSDGsの研究に携わる研究機関の専門家による「作成ワーキンググループ」を設置し、実用性の高いツールとシステムの構築を目指した議論を行った。
- 2019年度には主催イベントのワークショップ等で作成したチェックリストを活用して検証を重ね、必要な改訂を行った。また、チェックリストの活用に必要なワークショップ用の周辺ツール資料も作成した。
- 2020年度には、チェックリストとワークショップ用パッケージ一式を、中部地方ESD活動支援センターwebサイトに公開した。また、チェックリストを活用するファシリテーター養成を目的としたセミナーを開催した。

【実施結果】

- 完成したチェックリストは、「SDGsチェックリスト(基本段階版)」「SDGsチェックリスト(事業所活用版)」の2種類となっている。
- EPO業務、ESD業務の主催イベントで活用している。
- また、webサイト公開後は、自治体、企業などから職員・社員研修で活用したいとの問い合わせが複数入っているほか、セミナーで参考資料として配布したとの報告・連絡をいただくこともあった。

完成したSDGsチェックリスト（基本段階版）

SDGsチェックリスト(基本段階版) ver.1.20

監修：SDGsツール作成ワーキンググループ(2019年度) 発行：環境省中部地方環境事務所・中部地方ESD活動支援センター

○社会の一員として、すでに行っていることを、振り返ってみる
 すでに行っている取組内容を記入し、貢献しているSDGs目標には○を、
 足を引っ張っているSDGs目標には△をつける。

分類と例示	すでに行っている取組内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	○/△の合計	SDGs目標を選んだ理由
1. 飲食の提供や管理 食堂、キッチン等の運営管理																			/	
																			/	
																			/	
																			/	
2. 低・脱炭素エネルギー利用 省エネの実践、再生エネルギー利用																			/	
																			/	
3. 水利用と排水 節水、雨水利用、排水処理の工夫																			/	
																			/	
4. 通勤(通学)、搬送、輸送、配達 公共交通利用、エコカー採用、エコドライブ																			/	
																			/	
5. 調達(購入)と廃棄物処理 効率的調達、グリーン購入、地産地消、3R																			/	
																			/	
																			/	
																			/	
6. 施設と設備 環境配慮建築、持続可能性や多様性に配慮した施設や設備																			/	
																			/	
																			/	
																			/	
7. 公正な働き方 教育の推進、役割の公平性、多様な関係者の人権の尊重																			/	
																			/	
																			/	
																			/	
8. 社会参加と交流 地域での連携、地域活動参加など各種コミュニティへの貢献																			/	
																			/	
																			/	
																			/	
9. 安心・安全 地域防災、地域防犯																			/	
																			/	
																			/	
																			/	
10. その他の仕事(事業)などを通じた貢献																			/	
																			/	
○/△の合計																			/	

※タテ項目の例示的な分類：
 イギリス政府による教育政策に関する文献『新たな時代のESD サステナブルな学校を創ろうー世界のホールスクールから学ぶ』〔明石書店/永田佳之(著、監修、編集、翻訳)、曾我幸代(著、編集、翻訳)〕を参考にして設定。

完成したSDGsチェックリスト（事業所活用版／記入例案）

SDGsチェックリスト(事業所活用版)

監修：SDGsツール作成ワーキンググループ(2019年度) 発行：環境省中部地方環境事務所・中部地方ESD活動支援センター

OSDs目標との相互関連子チェック：取組内容及び点数を記入する。

- ① 最も関係するSDGs目標（3点×最大1）
- ② ある程度関係するSDGs目標（2点×最大2）
- ③ 少し関係するSDGs目標（1点×最大5）

○取組内容が関係するSDGs目標を選んだ理由を右側の欄に記入する。
（複数のSDGsが関係する場合は、それぞれの理由を記入する。）

取組分野	具体例	取組内容	SDGs目標との相互関連子チェック																	合計	SDGs目標を選んだ理由					
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
1. 持続可能な経済成長と社会的課題の解決	商品・サービスの品質と安全性確保、持続可能で強靱な社会インフラの開発・維持、イノベーションによる持続可能な経済成長、など	自動車タイヤ/技術を応用した介護ベッド開発			3							2	1	2			1							9	福祉目的の介護ベッド(3)、高齢者も平等に心地よい眠りを(10)、タイヤ技術の応用(9)など。	
		自社商品の耐久度調査の徹底																3						3	耐久度の高い商品(12)	
		廃品回収とリサイクルシステムの導入																							5	リサイクル(12)、CO2削減(7)
	2. 社会参画と発展への貢献	経営理念に沿った社会貢献活動・CSRの推進、地域社会の幅広い分野・立場の人々との交流を通じた相互信頼の獲得、従業員のボランティア活動支援、など	名古屋女子マラソンへのボランティア参加																						6	マラソン=健康(3)、女子マラソン支援(5)、名古屋の盛り上げ(11)
			中山間地域の自社小水力発電機の寄付																							7
	3. 消費者・顧客との信頼関係、公正な情報開示	商品・サービスの適切な情報提供、消費者・顧客への誠実対応、責任ある生産と消費、フェアトレード、など	同業者業界団体への原産地表示の徹底啓発	1	1							3													5	公正な企業=働きがい向上(8)、原産地の経済発展=貧困削減(1)
			顧客の苦情電話の内容を社内回覧し日々改善																1							1
4. 環境問題への取組	サプライチェーンを含む企業活動を通じた低炭素社会の構築、循環型社会の形成、生物多様性の保全、など	フェアトレード名古屋認定店との提携		1													3							4	フェアトレード=責任ある生産消費(12)	
		年に一度の漂着人工ゴミ清掃活動参加																1		3					4	漂着ゴミ=海の資源(14)、廃棄物への意識向上=使う責任(12)
5. 働き方の改革、職場環境の充実、人権の尊重、人材育成	多様な人材(外国人含む)の就労推進、差別や不合理な格差のない雇用管理、ワーク・ライフ・バランスの推進、など	LED電球への交換								2		3						2						7	LED=技術革新(9)、省エネ(7)(13)	
		自社ビル建築時の自主的環境アセスメント実施									1							1			3				5	環境アセスメント=陸の自然(15)
6. 危機管理の徹底	組織的な危機管理体制の整備、サイバーセキュリティの確保、災害発生時に備えた体制の構築、軍事産業への負分担、平和構築、など	社員食堂に多国籍料理の日を制定			1						3		2											6	公正な職場(8)、多文化共生(10)、多国籍料理の食育教育(2)	
		PC打ち込み作業を福祉事業所へ外部委託												3											3	障がい者との平等社会(10)
7. 公正な事業慣行とガバナンス	透明性の高い経営体制、企業倫理の徹底、持続可能なサプライチェーンの構築、など	社員研修にリラクゼーションデーを設定			3						1													4	社員の心の健康(3)、心身健康な職場=働きがい(8)	
		被災時に工場を地域住民の避難所として開放																3							3	災害時の地域貢献(11)
合計		被災時のサプライチェーン確保のシミュレーション実施															3							3	責任あるサプライチェーン=生産と消費(12)	
		反社会的勢力との関係断絶の徹底																						3	3	反社会的勢力=平和(16)
合計		社員無記名アンケートによる経営改善									3		1											4	経営改善で働きがいある企業(8)、社員間の平等(10)	
		社製「あてになる人間育成」の贈りでの復讐				1								1											2	企業倫理の確立(1)、社員教育=教育(4)
合計			1	4	9	1	2	3	7	14	4	9	11	18	2	4	4	3	2	98						

※タテ項目の例示的な分類：
経団連「企業行動憲章」10原則
を参考にして設定。

↑ 製品・サービス・社会貢献
↑ 製造・調達・企業経営

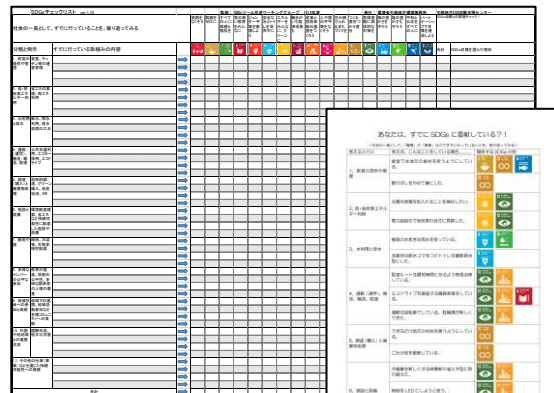
(2) 「SDGsチェックリスト」のワークショップ用ツールの作成

- チェックリストが活用されやすくなるよう、特にワークショップ時に必要となる周辺資料を作成し、パッケージ化して公開した。

【実施結果】

- いずれもwebサイト公開後に、使用許可等の問い合わせを度々いただいている。

ワークショップ用ツール ※ウェブサイトで公開



SDGsチェックリスト



SDGs事例集



SDGs 17 ゴール・ワーキング
用シート

ワークショップの流れ

話題提供
SDGsの意義・内容など

個人ワーク
【チェックリストを記入】
自分の活動はSDGsに貢献
しているか

グループワーク
(個人、ペアワーク)
【SDGs関連図の作成】
自分の活動がSDGsにどの
ように貢献しているか

ワーク成果の発表、紹介

(3) 「SDGsチェックリスト」の活用ワークショップの展開

- 2018年度に作成した「SDGsチェックリスト」を用いて、2019年度に様々な事業所職員や一般市民を対象として活用ワークショップを行い、参加者アンケート等を実施してチェックリストの使用感や効果について検証を行った。
- 検証ワークショップのほか、2019～2020年度にかけて、主催イベント、相談・依頼対応の一環などでチェックリストを活用したワークショップを展開した。

【実施結果】

- ワークショップ参加者の反応は好評で、また、ワークショップで記入されたワーキング用シートをFacebookページに掲載すると、リーチ数・リアクション数等が他投稿に比べて大幅に増加した。

投稿のプレビュー

アクション ▾

投稿のパフォーマンス

レポートの統計は、投稿に表示されている内容よりも遅れている可能性があります。

環境省 EPO 中部 / 中部地方 ESD 活動支援センター
2019年7月12日

最近、SDGsに関するワークショップ開催のための支援依頼が増えています。プラスチック問題など特定のテーマを入口にしてSDGsを学ぶ会合や、17ゴールと自分たちの関連性を認識することを目的とした職員研修などなど。また、当センター独自企画として、昨年度発行した「ESDのためのSDGsチェックリスト」の検証ワークショップも主催開催しております。

(参考: <https://chubu.esdcenter.jp/2019/06/10/sdgschecklistforssd/>)
SDGs初めの一歩を模索中の中部エリアの団体・自治体・企業の皆さん、ご参加、お問い合わせをお待ちしております。

543

リーチした人

23

リアクション、コメント、シェア

17

いいね!

0

すごいね

1

超いいね!

0

うけるね

0

悲しいね

0

ひどいね

2

コメント

3

シェア

25

投稿のクリック

6

写真ビュー

3

リンクのクリック

16

その他のクリック

否定的なフィードバック

0

投稿を非表示にする

0

すべての投稿を非表示にする

0

スパムとして報告

0

ページへの「いいね!」を取り消す

The composite image illustrates the practical application of the SDG checklist. On the left, a flowchart maps various activities (like food safety, medical equipment, and waste management) to specific SDG goals (e.g., 2, 3, 4, 5, 12, 13, 14, 15, 16). In the center, a Facebook post from the Chubu ESD Activity Support Center shows the checklist being shared and discussed. On the right, a screenshot of the checklist document shows a grid for tracking progress across different categories and goals.

基本段階版

STEP 1

- パッケージツールのWeb公開 (Webアンケートフィードバック)
- 使用ガイドの作成 (Web掲載)
- 使用方法の体験説明会の開催

STEP 2 (その先)

- WS実践者育成支援
- 子ども版パッケージの開発
- 関係者による実践研究会支援

事業所活用版

STEP 1

- チェックリスト使用による検証
- 使用ガイドの作成

STEP 2 (その先)

- 実践ワークショップの開催
- ターゲットに合わせた評価法開発

参考) 2019年度のSDGsチェックリスト活用ワークショップの開催

様々な事業所職員や一般市民を対象として「SDGsチェックリスト(基本段階版)」等を用いた体験ワークショップを行い、アンケートにより使用感や効果について検証を行った。

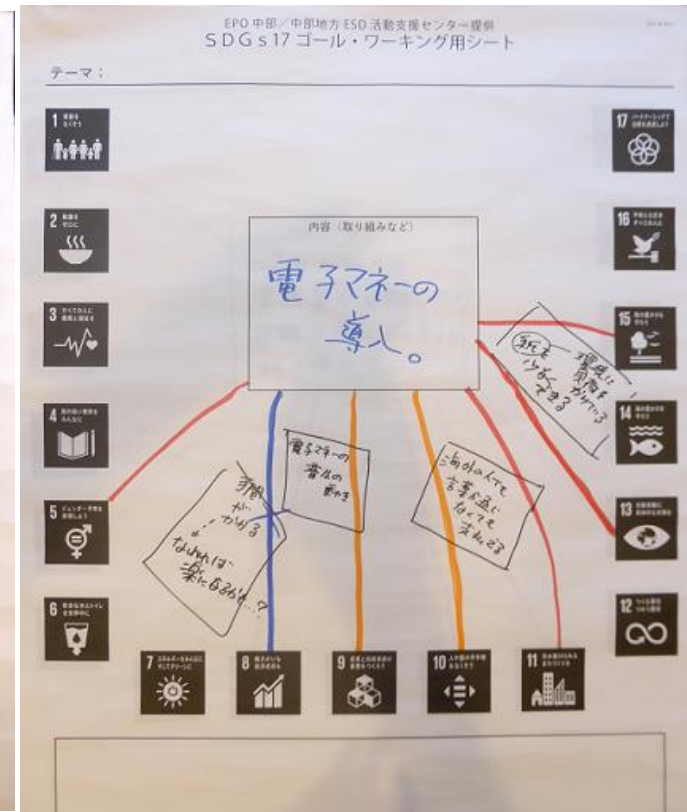
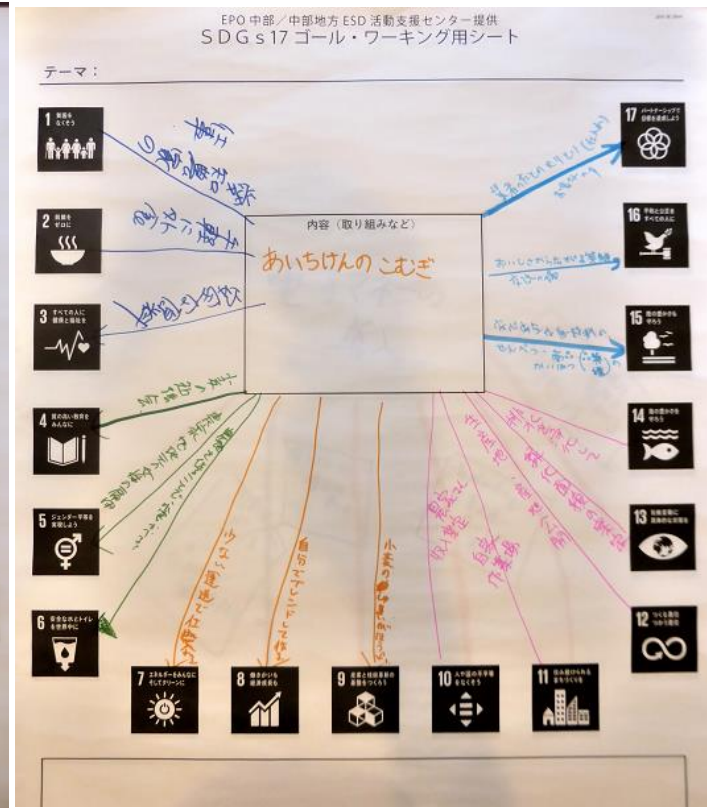
第1回	5月28日	日進市役所職員向けESD基礎研修にて実施 (10:00~12:00日進市役所第5会議室)
番外	6月15日	岐阜県温暖化防止活動推進センターが主催する地球温暖化防止活動推進員向け研修会として実施(12:45~15:45JR岐阜駅ハートフルスクエアG中研修室)
第2回	8月29日	名古屋青年会議所SDGs実践委員、山本屋:青木氏と連携して実施(大久手山本屋15:00~16:30 90分) (対象はうどん店の店主、業界関係者、一般市民)
番外	8月31日	日本体験学習研究所(JIEL)★ 講演に合わせて実施 (名古屋市内13:15~14:15 60分)
番外	11月25日	日進市役所職員向けESD基礎研修にて実施 (日進市役所第5会議室10:00~12:00 120分) (第1回とは別メンバー)
第3回	12月14日	西濃環境NPOネットワーク★ (大垣市内16:00~18:00 120分)

★:地域ESD拠点または拠点を含む団体

そのほかのチェックリスト、ワークシートの活用実績

- 三菱UFJリサーチ&コンサルティングの方から…SDGsのセミナー登壇の際に配布した(事後報告)
- 11/4ネットワークフォーラム…後半グループワーキングでワーキング用シートを活用
- 11/4フォーラム登壇の高校生の引率教師から…授業でのワーキング用シートの使用要望があり提供
- ほかにチェックリストをセミナーで配布して良いかの問合せあり

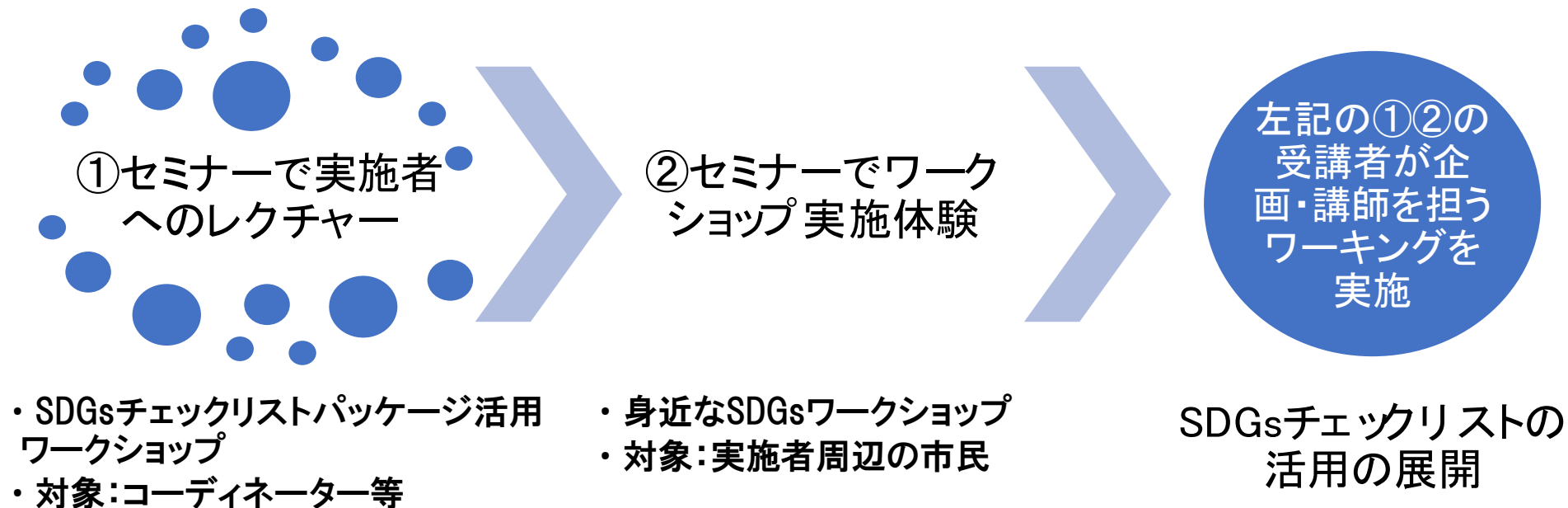
2019年度ワークショップ（大久手山本屋）のグループワーク結果



- 2019年8月に、味噌煮込みうどん屋「大久手山本屋」（愛知県名古屋市）において、うどん職人、店員、一般参加者等交えた参加者21名で、3グループにわかれてワークショップを実施した（EPO中部・協働コーディネーターもファシリテーター参加）。
- 「SDGsチェックリスト」を用いた個人ワークで取組例を共有し、上画像のワーキング用シートで他にSDGsに貢献できていることがないかグループで話し合った。

(4) SDGsチェックリスト活用ファシリテーターの養成

- 「SDGsチェックリスト」の活用方法を理解するファシリテーターの養成と、活用ワーキングの実施者・主宰者を増やすことを目的に、SDGsチェックリスト活用セミナーを2020年6月に開催した。



【実施結果】

- 活用セミナーをオンライン開催し、協働コーディネーター3名と地域ESD拠点登録団体の職員1名の計4名が「実施者レクチャー」を受講した(計49名がオンライン参加・視聴)。
- その後、実施レク参加者3名が所属先やイベント等で、チェックリストを活用した自主企画ワークショップを開催した。

その他の取組

(1) 運営会議の実施

- EPO中部運営会議、中部地方ESD活動支援センター企画運営会議を次の通り開催した。

	2018年度			2019年度		2020年度	
	第1回	第2回	第3回	第1回	第2回	第1回	第2回
EPO中部運営会議	5月29日 会議	10月9日 会議	1月29日 会議	6月19日 会議	3月上旬 書面会議	6月1日 オンライン	1月22日 オンライン予定
中部地方ESD活動支援 センター企画運営会議	5月15日 会議	10月2日 会議	2月12日 会議	6月25日 会議	2月27日 会議	6月5日 オンライン	1月20日 オンライン予定

【実施結果】

- 各年度はじめの会議では、年間計画・業務展開の事務局案を諮問し、各委員からいただいた意見についてはできるだけ業務に反映して取り組んでいる。
- また、各年度終わりの会議では、取り組んだ結果報告を行い、次年度に向けた意見・示唆をいただき、それを年間業務報告書などに明記している。
- 主催イベントでは、各委員から協力・連携を得て実施・開催したものが多々ある。

オンライン開催となった
2020年度第1回EPO中部運営会議→



その他の取組

(2) 情報収集・情報発信(アクセス数等)

- EPO中部、中部地方ESD活動支援センターのWebサイトの第5期におけるアクセス数(ページビュー数)は次の通りである。

※2020年11月末時点

	URL	第5期			第4期
		2018年度	2019年度	2020年度※	2017年度
EPO中部Webサイト	http://www.epo-chubu.jp	279,316 件	810,836 件	406,170 件	335,028 件
中部地方ESD活動支援センターWebサイト	https://chubu.esdcenter.jp	10,612 件	11,521 件	8,350 件	4,857 件

【実施結果(2020年11月末時点)】

- 第5期の1年目(2018年度)は、EPOサイトのアクセス数が第4期に比べて減少したが、Facebookページを開設し、Webサイトとの連動展開を図ったところ、2019年度以降は大幅にアクセス数が増加した。
- ESDサイト(2017年7月開設)のアクセス数は、EPOサイトに比べて少ないが、開設以来、増加傾向が継続している。
- ESDサイトでは、2020年4月以降に公開した「SDGsチェックリスト」及びパッケージツール一式へのアクセス数が特に目立っている。

中部地方ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development

サイト内を検索

センターからのお知らせ1

2020.03.31 SDGsチェックリスト
新バージョンの「SDGsチェックリスト」をご活用ください！
「SDGsチェックリスト(基本段階版・事業所版)」とチェックリストを活用するためのツール(事例シート/ワークシート/ワークショップパッケージスライド/活動ガイド)を掲載しています。

センターからのお知らせ2

2020.03.18 お知らせ
環境省「持続可能な開発目標(SDGs)活用ガイド」(第2版)が発行されました
本編・資料編とともに、環境省HPからダウンロードして、閲覧・利活用することが可能です。

当センターについて

企画運営会議
取材レポート
事業報告
SDGsチェックリスト
SDGsワークショップ
イベント&ニュース
中部の地域ESD拠点
資料紹介
センター概要
アクセス・開館時間
お知らせ
サイト利用案内

その他の取組

(3) 3カ年の主催イベント

- 第5期に主催した主なイベントは次の通りである。

- ★: 協働コーディネーターと協力・連携
- ❖: 運営委員と協力連携
- (PF): プラットフォーム事業採択団体と連携

区分	協働	地域循環共生圏・基盤強化	SDGsチェックリスト活用	ESDダイアログ	ESDネットワークフォーラム
2018年度	❖ ★ 協働フォーラム ×3回開催(うち1回は同時解決事業採択団体と連携)[①23人、②23人、③31人] ★協働セミナー[25人]	—	(※相談対応の依頼に応じて、試行的にワークショップの実施あり)	❖ ユネスコスクール交流会[60人] ❖ ユネスコエコパーク活用[55人] ・そのほか: 企業によるSDGs[28人]	❖ ★ 企業、ESD拠点、中間支援組織によるESD[48人]
2019年度	❖ ★(PF) 協働フォーラム ×2回開催(うち1回は同時解決事業採択団体と連携)[①30人、②29人]	★地域循環共生圏セミナー[33人]	★チェックリスト活用ワークショップ ×3回開催[①41人、②21人、③23人]	❖ ユネスコスクール交流会[54人] ❖ ユネスコエコパーク活用[36人] ・そのほか: 企業によるSDGs[24人]	❖ ★ 多世代交流(企業と高校生)のSDGs[52人]
2020年度	★(PF) 協働コーディネーター連携セミナー[49人]	❖(PF) 基盤強化 ×2回開催(予定)[①49人、②未] (PF) 森里川海 ×2回開催(予定)[①②未]	★チェックリスト活用セミナー[49人] ★セミナー参加者自主企画 ×3回開催[①40人、②4人、③34人]	❖ ユネスコエコパーク活用[43人]	❖ SDGs未来都市の学生交流(予定)[未]

[]の人数: 参加者・オンライン視聴者の数(2020年11月末時点把握)

その他の取組

(3) 3カ年の主催イベント

【実施結果】

- ほとんどの主催イベントにおいて、EPO中部運営会議委員、中部地方ESD活動支援センター企画運営会議委員、EPO中部・協働コーディネーターとの連携・協力を得て開催している。
- 各運営会議では、関係した委員からの報告や所感等の発言があったことで、より実情に即した委員からの提案・提言があり、それを次回(次年度)開催時の企画等に活かすことができた。
- また、2018-2019年度の同時解決事業採択団体や、2019-2020年度のプラットフォーム事業採択団体にも、関係エリアでの開催時に取組発表等を行うプログラムを盛り込み、EPO主催イベントを各事業採択団体のPRの場づくりというEPOによる支援につなげることができた。
- 全てのイベントで参加者アンケートを実施しており、いずれのイベントにおいても参加者の評価は高く、催事内容が協働・SDGs・地域循環共生圏づくり、ESD等に取り組むモチベーション向上につながっているとの結果を得ている。

	●今回の催事はいかがでしたか				
	良かった	まあまあ良かった	あまり良くなかった	良くなかった	無回答
190807協働フォーラム金沢 (n=21)	11	10	0	0	0
191123協働フォーラム飯山 (n=18)	15	3	0	0	0
200131地域循環共生圏セミナー (n=20)	12	4	2	0	2

	●今後のあなたの活動や取組で役立つ情報や事例などがありましたか			
	あった	なかった	どちらともいえない	無回答
190807協働フォーラム金沢 (n=21)	9	1	10	1
191123協働フォーラム飯山 (n=18)	17	0	1	0
200131地域循環共生圏セミナー (n=20)	17	0	2	1

	●今回の催事はいかがでしたか				
	良かった	まあまあ良かった	あまり良くなかった	良くなかった	無回答
190613ESDダイアログ福井 (n=9)	5	4	0	0	0
190808ESDダイアログ金沢 (n=35)	22	13	0	0	0
191116ESDダイアログ飯田 (n=17)	11	6	0	0	0
191104ESD推奨フォーラム名古屋 (n=42)	31	11	0	0	0

	●今後のあなたの活動や取組で役立つ情報や事例などがありましたか			
	あった	なかった	どちらともいえない	無回答
190613ESDダイアログ福井 (n=9)	7	0	1	1
190808ESDダイアログ金沢 (n=35)	33	0	2	0
191116ESDダイアログ飯田 (n=17)	14	1	2	0
191104ESD推奨フォーラム名古屋 (n=42)	31	2	9	0

2019年度EPO業務イベントの参加者アンケート結果

2019年度ESD業務イベントの参加者アンケート結果

EPO業務イベントの開催案内チラシ

上段：2018年度開催／下段：2019年度開催

地域環境活動の協働における連携強化のためのフォーラム (第1回/北陸)

【開催日時】2018年 8月4日 (土) 13:30～16:30 (開場13:00)

【開催会場】金沢勤労者プラザ 101研修室
(石川県金沢市北栄3-2-20)

■プログラム

1. ごあいさつ
2. EPO中核・協働コーディネーターによる 地域環境活動事例の紹介
 - 事例1：コウノトリをシンボルとした福井県越前市における 里地里山の保全再生の協働取り組み
越前市長野コウノトリ再生 日和 佳政 氏
 - 事例2：地域課題に対する金融機関との協働取組みの創出
尾崎 成 氏
 - 事例3：SDGsでつなぐローカルパートナーシップ
富山県立大学EPOコーディネーター 堺 勇人 氏
3. 意見交換
4. 活動評価分析ワークショップ (対象：北陸地域の環境活動事例)
5. まとめ



EPO中核は、活動のエッセンスを「見える化」するワークショップ・プログラムづくりに取り組んでいます。本フォーラムでは、プログラムの一部を公開で実施し、その過程を経験するワークショップに参加者に実施していただきます。

主催：環境省中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)



地域環境活動の協働における連携強化のためのフォーラム (第2回/信州)

【開催日時】2018年 10月5日 (金) 13:30～16:30 (開場13:00)
【開催会場】もんぜんぶら座 会議室304
(長野県信濃町1435-1)

■プログラム

1. ごあいさつ
2. EPO中核・協働コーディネーターによる 地域環境活動事例の紹介
 - 事例1：ドローンがつかなく自治組織とNPO～地域資源の再発見と災害に強い集落づくり
特定非営利活動法人長野県NPOセンター事務局長 山室 秀俊 氏
 - 事例2：こどもたちがもともと元気に輝く地域をめざして
特定非営利活動法人えんのみ/特定非営利活動法人おん 山田 勇 氏
3. 活動評価分析ワークショップ
 - 分析対象事例：長野県新井市の 里山保全体験を通した障がい者雇用促進
 - 対象事例の概要紹介：大和田 正勝 氏 (南山大学学長)
 - 分析及び分析結果の紹介：原 理史 氏 (EPO中核/中部大学中核環境学専攻研究員)
4. 意見交換
5. まとめ



EPO中核は、活動のエッセンスを「見える化」するワークショップ・プログラムづくりに取り組んでいます。本フォーラムでは、プログラムの一部を公開で実施し、その過程を経験するワークショップに参加者に実施していただきます。

主催：環境省中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)

地域環境活動の協働における連携強化のためのフォーラム (第3回/東海)

【日時】2018年 1月15日 (火) 13:30～16:30 (開場13:00)
【会場】ウインクあいち 会議室1302
(愛知県豊田市東町4-1-5)

■講演

- 協働の可能性と課題
千原 聡 氏 (日本福祉大学 国際福祉開発学専攻教授)
- EPO中核・協働コーディネーターによる 地域環境活動事例の紹介
- 事例1：地域課題の解決に向けた多様な主体による協働取組
野村 尚博 氏 (特定非営利活動法人人と水の研究所理事長)
 - 事例2：異分野へウィングを広げる (四日市市での実践から)
寺田 卓二 氏 (環境教育ネットワーク研究会代表)
 - 事例3：とよたエコライフセンターの取組み
坂本 風見 氏 (NPO法人エコライフ研究会代表)



活動見える化プログラム

対象事例：とよたエコライフセンターの取組み
分析及び分析結果の紹介：原 理史 氏 (EPO中核/中部大学中核環境学専攻研究員)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

活動とSDGsとのつながりも見える化

EPO中核は、活動のエッセンスを「見える化」するワークショップ・プログラムづくりに取り組んでいます。本フォーラムでは、プログラムの一部を公開で実施し、その過程を経験するワークショップに参加者に実施していただきます。

2018年10月17日(水)開催
13時～16時30分

主催：環境省中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)

地域環境活動促進セミナー 地域循環共生圏のための「協働」戦略を考える

参加者募集

日時：2018年 2月22日 (金) 13:00～16:30 (開場13:30)
会場：環境省中部地方環境事務所 第1会議室
(〒478-0001名古屋市中区5-1-3-3)

協働に向けた地域循環共生圏～年次報告の重点施策～ EPO中核による「協働」支援の取組実践
環境省中部地方環境事務所 環境対策課 中部環境パートナーシップオフィス

多様な主体をつなぎ、変革を促す：
チェンジエージェント機能を核とした中間支援
講師：鳥嶋 未菜子 氏 (早稲田大学環境政策センター准教授)

ワークショップ
「地域循環共生圏」を目指した施策課題を考える

- ワークシートで「地域課題の抽出・明確化」
- グループワークで「地域課題のアイデア創出」
- ディスカッションで「共有」

まとめ 講師：鳥嶋未菜子氏による講評

講師プロフィール

鳥嶋未菜子氏は環境省環境政策課長を務め、2016年度、2017年度に環境政策研究センター理事、2018年度から環境政策課長に就任。2018年10月には環境政策研究センター理事、2018年度から環境政策課長に就任。2018年度から環境政策課長に就任。2018年度から環境政策課長に就任。2018年度から環境政策課長に就任。

鳥嶋 未菜子 氏

主催：環境省中部環境パートナーシップオフィス (EPO中核)

地域環境活動の協働における連携強化のためのフォーラム in 金沢

開催：2019年 8月7日 (火) 13:00～16:30 (12:30受付開始)
会場：金沢勤労者プラザ 4階・406研修室 (後援：金沢市EPO)
参加：事前申込が必要です (申し込みは2週間前)。参加無料。先着順
主催：環境省中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)

講演 「協働」、それは思ってもみなかった成功の連鎖

新 広昭 氏 (金沢工業大学 経済学部 教授)

EPO中核・協働コーディネーターによる地域環境活動事例の紹介

地域の環境の取組、若い方で「俺!」高校生が活躍の場を紹介

事例1：
地域活性化のための地域資源活用と協働の取組
茶本 勝 氏 (株式会社ティーマー・フリース・コミュニケーションズ代表取締役)

事例2：
能登の里田における環境保護活動
石川県立七尾東洋高等学校 鹿野 ちやべら 氏

事例3：
匠介モノから地域資源へ、アプリを活用した高校との協働取組
中野 阿見 氏 (NPO法人おんおんばら理事、NPO法人おんおんばらに専任理事)

グループディスカッション
高校生から見た大人の活動はどう見える? 大人は高校生の活動をどう考える?

パネルディスカッション
若い力を地域環境活動に活かすには

地域環境活動の協働における連携強化のためのフォーラム in 信州

信州の地域循環共生圏づくりと協働取組

日時：2019年11月23日 (土) 12:00～15:00 (受付開始13:30)
場所：なべくら高原農の家 (長野県信濃市1371-15)
※11月19日(水)～20日(木)は長野県での先行セミナー(申し込みは要)

EPO中核・信州と3県のコラボで開催
・SDGsと信州の地域循環共生圏(環境省中部環境事務所)
・NPOおんおんEPO中核・協働コーディネーターによる「協働」実践
・本の森の学び舎(なべくら高原農の家(長野県信濃市))

「協働」実践の紹介
1 信州林産連携推進事業「信州ロケットアライアンス」の紹介
2 協働による「信州山岳プロダクト」の紹介
3 「協働」実践の紹介
4 「協働」実践の紹介

「協働」実践の紹介
1 信州林産連携推進事業「信州ロケットアライアンス」の紹介
2 協働による「信州山岳プロダクト」の紹介
3 「協働」実践の紹介
4 「協働」実践の紹介

「協働」実践の紹介
1 信州林産連携推進事業「信州ロケットアライアンス」の紹介
2 協働による「信州山岳プロダクト」の紹介
3 「協働」実践の紹介
4 「協働」実践の紹介

環境省EPO中部主催・地域循環共生圏づくりセミナー

地域循環共生圏づくりでローカルSDGsを考える

日時：2020年1月31日 (金) 13:30～17:00 / 受付開始13:00
場所：環境省中部地方環境事務所 第1会議室
(名古屋市中区5-1-3-2)

地域の取組を学ぶことからはじめ、「バックキャスト」し、地域経済循環分析ツールで地域づくりの取組を導く「ウォークキャスト」をテーマとしたセミナーを開催します。

- 講演「環境省の最新動向～SDGsと地域循環共生圏～」
西田 清紀 氏 (環境省中部地方環境事務所 環境対策課 主査)
- 情報提供「地域経済循環分析について」
山崎清氏 (株式会社環境総合研究所/パブリックコンサルティング第4事業部 事業部長)
- ワークショップ「協働可能性のための地元活用ワークショップ」
<モデレーター：環境省中部環境パートナーシップオフィス>
<ファシリテーター：EPO中部・協働コーディネーター>

ESD推進のためのダイアログ

北信越ユネスコスクール交流会 2018

北陸における協働取組みフォーラム

【開催日時】2018年8月6日(月)13:30～16:30(開場13:00)

【開催会場】金沢勤労者プラザ 101研修室 (石川県金沢市北江3-20)

■プログラム

1. 開会
開会挨拶:北陸ESD推進コンソーシアム事務局
2. 報告:
ESD・ユネスコスクールを巡る最新の動向
ESD活動支援センター 副センター長 鈴木克徳氏
3. 2030年を見据えたSDG s 未来都市の実現に向けて
富山市環境政策課課長代理 東福光晴氏
4. 小学校の授業実践
『5年総合「福野大好き われら37名+1」プロモーションビデオを作ろう』の実践から
南砺市立福野小学校(ユネスコスクール) 立野文州氏
5. 各グループによる討議・発表準備
6. 各グループからの発表
7. 閉会

主催:中部地方ESD活動支援センター、北陸ESD推進コンソーシアム事務局
協賛:石川県環境政策課
後援:ユネスコスクール実践大学ネットワーク、信越ESDコンソーシアム、金沢市教育委員会(予定)

ESD推進のためのダイアログ in 信州

ユネスコエコパークにおける交流と協働によるESDの推進

【開催日時】10月13日(土)～14日(日) (13日:志賀高原総合会館9F、14日:志賀高原総合会館9F)

【開催会場】志賀高原総合会館9F

主催:中部地方ESD活動支援センター、信越ESD推進コンソーシアム事務局、ESD活動支援センター、ESD推進センター、ESD推進センター、ESD推進センター

協賛:ESD活動支援センター、ESD推進センター、ESD推進センター

後援:ESD活動支援センター、ESD推進センター、ESD推進センター

【1日目】日時:10月13日(土)14:30～17:30
会場:志賀高原総合会館9F

■プログラム

1. 開会
2. 既報提供
ESDの推進におけるユネスコエコパークの役割(仮)
立教大学教授、同ESD研究所長、ESD活動支援センター長 阿部 治氏
3. 活動事例報告
志賀高原ユネスコエコパークにおけるESDの推進について
志賀高原ESD推進委員会/信州大学教育研究部助教授 次谷 瑞希氏
4. グループ討議/全体討議
5. 閉会

文書費:18:30～20:30/会場:志賀レックホテル

【2日目】日時:10月14日(日)9:00～12:00
集合・解散:志賀高原総合会館9F

志賀高原観光協会、志賀高原ガイド組合
「志賀高原ユネスコエコパーク環境学習プログラム」
デモンストレーション

参加者募集
定員に達しない限り、随時募集いたします。
参加費無料です。
参加費無料です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ESD推進のためのダイアログ in 信州

SDGs時代における企業・地域の人材育成

【開催日時】2018年11月18日(金)13:30～16:30(開場13:00)

【開催会場】ウインクあいち 会議室1302 (名古屋市中村区名駅4-4-38)

主催:ESD活動支援センター、ESD推進センター、ESD推進センター

協賛:ESD活動支援センター、ESD推進センター、ESD推進センター

後援:ESD活動支援センター、ESD推進センター、ESD推進センター

【参加者募集】

SDGs時代における企業・地域の人材育成
戸成 剛氏(住友理工株式会社 CSRアドバイザー)

【企業への取組紹介】

愛知の中山間地・豊田中核地区での開発への取組みと企業の役割
橋田 幸司氏(トヨタ工業株式会社 代表取締役社長)

地域工務店だからこそ「人(社員/お客様/職人)」を育てる
石塚 常行氏(なまはら一社株式会社 代表取締役社長)

排水処理施設の維持管理業から地域環境総合アドバイザーへ
榎村 正史氏(株式会社産業 社長兼環境CSV推進責任者)

【ディスカッション】

SDGs時代のESD推進における企業・団体・行政などの役割を考える
総合アドバイザー:原 理雄氏(ESD活動支援センター)
テーマ1:地域ESDにおいて企業・団体・行政などができること
テーマ2:企業・団体・行政などの組織内におけるESD推進に必要なこと
テーマ3:地域におけるSDGs社会人とはどんな人か

【講師】

戸成 剛氏(住友理工株式会社 CSRアドバイザー)

中部地方ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development

ESD(持続可能な開発のための教育)推進ネットワーク地域フォーラム in 中部

SDGs社会のためのESDネットワークを考える

【開催日時】2019年1月25日(金)13:30～16:30(開場13:00)

【開催会場】ウインクあいち 会議室1302 (名古屋市中村区名駅4-4-38)

主催:ESD活動支援センター、ESD推進センター、ESD推進センター

協賛:ESD活動支援センター、ESD推進センター、ESD推進センター

後援:ESD活動支援センター、ESD推進センター、ESD推進センター

【参加者募集】

ESD/SDGsをめぐる最新の動向～SDGs達成に向けたESDの挑戦～
鈴木 克徳氏(ESD活動支援センター副センター長)

活動紹介
ESDとSDGsの呼応 そしてSDへ
寺田 康二氏(環境教育ネットワーク研究会代表)

自治体:日進市におけるESDの取組み～ESDをキーワードとした人づくり～
水野 洋佑氏(日進市市民生活環境推進課課長兼ESD推進係長)

協賛主体:SDGsでつなぐローカルプラットフォーム
等 勇人氏(FCGや中野副理事長/富山県立大ESDコーディネーター)

ESDネットワーク交流セッション
SDGs時代のESDネットワークへの期待
パネリスト:鈴木 克徳氏(ESD活動支援センター副センター長)
寺田 康二氏(環境教育ネットワーク研究会代表)
水野 洋佑氏(日進市市民生活環境推進課課長兼ESD推進係長)
等 勇人氏(FCGや中野副理事長/富山県立大ESDコーディネーター)

コーディネーター:原 理雄氏(中部地方ESD活動支援センター)

連絡:伊藤 泰彦氏(名古屋立大学大学院人文文化研究科助教授)

中部地方ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development

ESD推進のためのダイアログ

北信越ユネスコススクール交流会 in 金沢 2019

日時:2019年8月6日(木)13:30～16:30
会場:金沢勤労者プラザ 101研修室 (石川県金沢市北江3-20)

参加無料 北信越エリア以外からの参加者も歓迎!

ESD・ユネスコススクールを巡る最新の動向

全国ESD活動支援センター 副センター長 鈴木克徳氏

2030年を見据えたSDGs未来都市の実現に向けて

金沢市都市政策局企画調整課

＜小学校の授業実践＞

ESDの視点から見た「対話的な学び」についての一考察～小学校2年間の継続的実践から～
富山県舟橋村立舟橋小学校 教諭 尾島良幸氏

スモールグループによる討議・発表

主催:北信越ユネスコススクール交流会in金沢2019実行委員会
協賛:ESD活動支援センター、中部地方ESD推進コンソーシアム、石川県ユネスコ協会
後援:ユネスコスクール実践大学ネットワーク、信越ESDコンソーシアム、金沢市教育委員会(予定)

ESD(持続可能な開発のための教育)推進のためのダイアログ in 信州

ユネスコエコパークを活かしたESDによる地域創生

【開催日時】2019年11月16日(土)開場13:30～16:30(受付開始13:00)

【会場】飯田市役所(本庁舎)3階3階 C311-313号会議室
主催:中部地方ESD活動支援センター(主催者 EPO中部)
共催:飯田市、信越ESDコンソーシアム
後援:南アルプス国立自然公園総合振興協議会、飯田市教育委員会

【プログラム】

■開会
ユネスコエコパーク(ESD)と自然が共生する持続可能な社会づくり
水谷 希寿氏(信州大学教育研究部)

■講演1
ESDによる地域創生のすすめ
阿部 治氏(立教大学教授、同ESD研究所長、ESD活動支援センター)

■講演2
ESDの推進におけるユネスコエコパークの役割(仮)
尾島 良幸氏(信州大学教育研究部)

■講演3
学校と地域が協働するESD for SDGs
村松 英彦氏(飯田市立上村小学校校長)

■中核地
田中 清一氏(飯田市教育委員会事務局学校教育指導指導主事)

■講演4
飯田市のESD実践
高校生講座 カンパシオ・スタディツアーの取組について(仮)
飯田市民院(講師)

■グループディスカッション
ユネスコエコパークの理念を活用したESD視点による地域づくり

中部地方ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development

ESD(持続可能な開発のための教育)推進のためのダイアログ in 中部

世代間交流によるSDGs貢献のための人づくり

【開催日時】2019年11月4日(月・祝)13:30～16:30(開場13:00)

【開催会場】ウインクあいち 会議室1103 (名古屋市中村区名駅4-4-38)

主催:ESD活動支援センター、ESD推進センター、ESD推進センター

協賛:ESD活動支援センター、ESD推進センター、ESD推進センター

後援:ESD活動支援センター、ESD推進センター、ESD推進センター

【参加者募集】

ESD/SDGsをめぐる最新の動向～SDGs達成に向けたESDの挑戦～
鈴木 克徳氏(ESD活動支援センター副センター長)

活動紹介
ESDとSDGsの呼応 そしてSDへ
寺田 康二氏(環境教育ネットワーク研究会代表)

自治体:日進市におけるESDの取組み～ESDをキーワードとした人づくり～
水野 洋佑氏(日進市市民生活環境推進課課長兼ESD推進係長)

協賛主体:SDGsでつなぐローカルプラットフォーム
等 勇人氏(FCGや中野副理事長/富山県立大ESDコーディネーター)

コーディネーター:原 理雄氏(中部地方ESD活動支援センター)

連絡:伊藤 泰彦氏(名古屋立大学大学院人文文化研究科助教授)

中部地方ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development

ESD(持続可能な開発のための教育)推進のためのダイアログ in 中部

ESDによる地域創生

【開催日時】2019年11月16日(土)開場13:30～16:30(受付開始13:00)

【会場】飯田市役所(本庁舎)3階3階 C311-313号会議室
主催:中部地方ESD活動支援センター(主催者 EPO中部)
共催:飯田市、信越ESDコンソーシアム
後援:南アルプス国立自然公園総合振興協議会、飯田市教育委員会

【プログラム】

■開会
ユネスコエコパーク(ESD)と自然が共生する持続可能な社会づくり
水谷 希寿氏(信州大学教育研究部)

■講演1
ESDによる地域創生のすすめ
阿部 治氏(立教大学教授、同ESD研究所長、ESD活動支援センター)

■講演2
ESDの推進におけるユネスコエコパークの役割(仮)
尾島 良幸氏(信州大学教育研究部)

■講演3
学校と地域が協働するESD for SDGs
村松 英彦氏(飯田市立上村小学校校長)

■中核地
田中 清一氏(飯田市教育委員会事務局学校教育指導指導主事)

■講演4
飯田市のESD実践
高校生講座 カンパシオ・スタディツアーの取組について(仮)
飯田市民院(講師)

■グループディスカッション
ユネスコエコパークの理念を活用したESD視点による地域づくり

中部地方ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development

3. 第5期の取組についての総括

①3カ年取り組んだことによる成果 1/2

■ 活動見える化プログラムについて

- 2018年度は協働を重視したチャートを作成したが、第五次環境基本計画の閣議決定を受けて、2019年度からは「地域循環共生圏」「SDGs」の要素を明示する活動分析チャート図に改訂した。
- さらに、2020年度ではプラットフォーム事業にも活用するなど、環境省の施策に適時対応するツールを構築することができた。

■ SDGsチェックリストについて

- 1年目に専門家との検討を重ねて作成した「SDGsチェックリスト」を、2年目には実際にワークショップ等で活用・検証を経て改良し、3年目にはチェックリストの活用ファシリテーター養成講座の開催と、チェックリストWebサイトでの公開を行い、5期3年間で完成度の高い独自ツールの完成と普及・公開までの取組を展開することができた。
- 2年目のワークショップでの活用・検証により、チェックリストと併せてワークショップに有用なパッケージ・ツールが必要とわかり、実際に作成し、その有用性をさらに高めることができた。
- 3年目の一般公開以後は、研修等でチェックリスト及びパッケージツールを活用したいという企業・自治体から問合せが寄せられるようになっている。

①3カ年取り組んだことによる成果 2/2

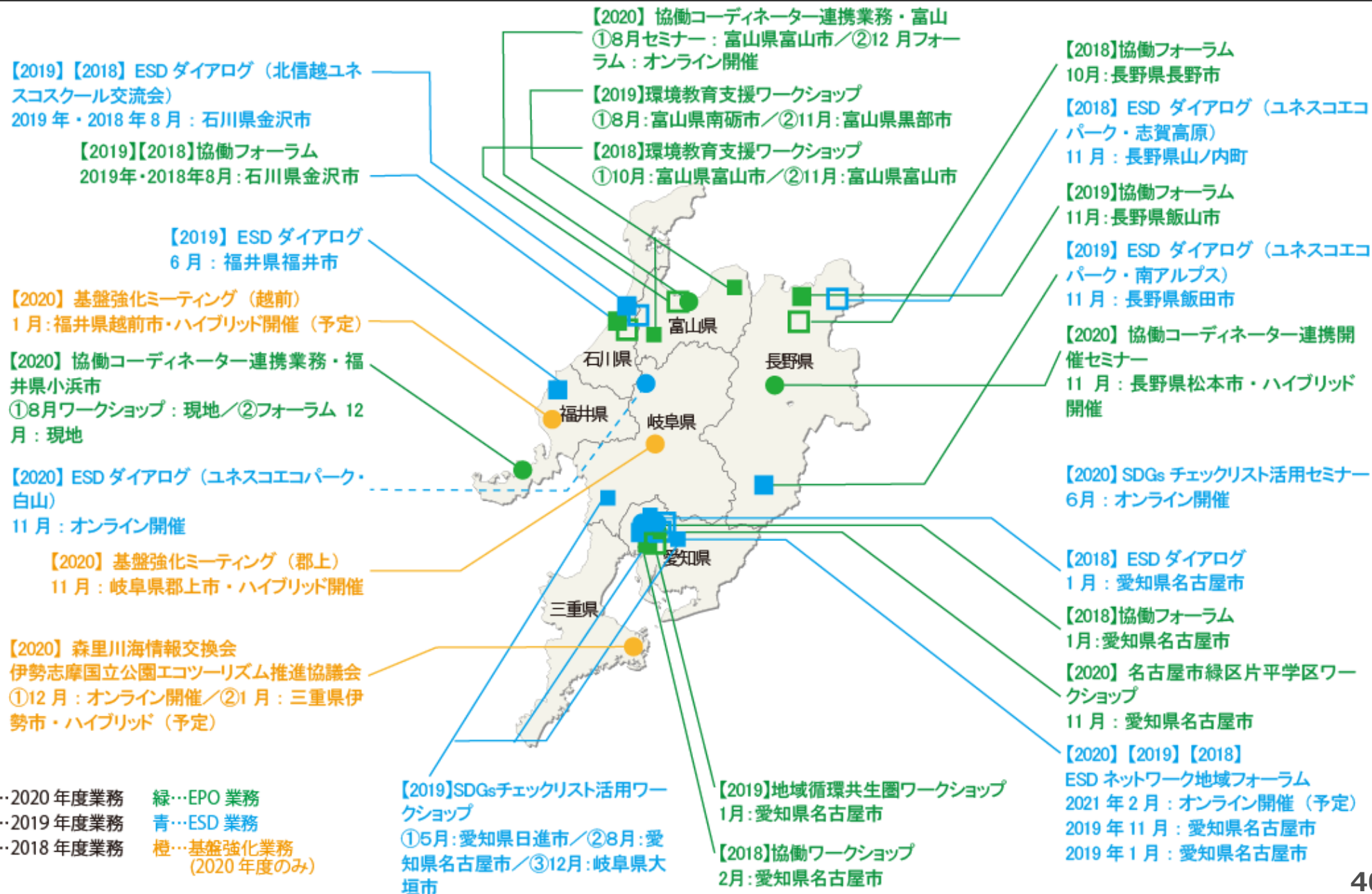
■ 主催イベントの開催について

- 第5期3カ年の中で、ユネスコエコパークを活用したESDダイアログを毎年開催し、ユネスコエコパーク認定エリアが多数ある中部の特性を活かしたイベント開催に取り組んだ。
- また、中部7県の広範な管轄エリアの中で、3カ年の時間軸の中で地域のニーズを組み入れながら、開催地(開催県)に偏りのない地域バランスに留意したイベント開催が可能となった。

■ そのほか情報発信について

- 第5期では、2018-2019年度にかけて「活動見える化プログラム」や「SDGsチェックリスト」、「活動支援に資するデータ集」や協働コーディネーターとの連携など、新たなツール・コンテンツの作成を進め、さらに2019・2020年度にかけて、これらのツール・コンテンツが広く活用されるよう、EPO中部webサイトのあり方検討、SNS活用(Facebookページ開設)、webサイトの全面リニューアルなど実施した。
- 3カ年かけて、EPO中部独自ツール・コンテンツの作成・充実化を進めると同時に、EPO中部webサイトをこれらのツール・コンテンツ、及びEPOの支援メニュー等にアクセスできるポータルサイト化し、さらにはSDGs活用、地域循環共生圏づくりの事例を発信、蓄積する機能をもったサイトとして、戦略的、段階的に充実化を図ることができた。

第5期の3年間に主催したイベント



②課題 1/2

■ イベント開催について

- 2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、急遽、オンライン開催となったイベントが多いが、運営方法等に慣れず、手間取る場面なども多々あった。
- 第5期3カ年かけて、中部7県のいずれにおいても主催イベントを実施することができたが、岐阜県、三重県は他県に比べて開催回数が少ない。

■ 協働コーディネーターとの連携について

- 第5期開始時に16名の協働コーディネーターによる協力が得られていたが、その後、コーディネーター側の諸事情等により第5期終盤時点でEPO中部に協力可能な協働コーディネーターの数は13名となり、県によってコーディネーターの数にばらつきが見られるようになっている。
- 第5期に開催した多くの主催イベントで協働コーディネーターとの連携を得て、地域ニーズに即したイベントが実施できていたが、協働コーディネーターの数やEPOとの接触度合い等によっては、協働コーディネーターとの連携イベントの開催が難しくなっている県もある。

■ 「活動見える化プログラム」「SDGsチェックリスト」について

- 2020年度までに完成したこれらのツールは、公開から日が浅く、まだ十分にEPO支援ツールとしての活用方法が提示できていない。

②課題 2/2

■ 情報発信について

- EPO中部webサイトは2020年12月に全面リニューアルを行ったところであり、コンテンツの充実化、ポータルサイトとしての機能性の確保は、次年度以降の維持管理に委ねられる。
- 旧(現)・EPO中部webサイトには、アクセス解析ツールが組み入れられておらず、アクセス分析などができない状態となっている。(2019年度のアクセス数増加の要因も実質把握できていないに等しい。)

■ そのほか

- 新型コロナ問題に直面した2020年度以前の2018・2019年度では、EPOの来館者数の少なさが課題となっていた。そのため、2020年度に、EPOを会場にした小規模イベントを開催し、EPOがどのような場所か来てもらい、知ってもらう企画を立案していたが、新型コロナの影響により、実施不可となった。
- 新型コロナ問題が沈静化した場合には来館者の増加を促す取組が必要であり、またそうでなかった場合においても、「withコロナ」によるEPO利用促進のあり方を検討・対応していく必要がある。

③今後に向けて 1/2

■ イベント開催と協働コーディネーターとの連携について

- 協働コーディネーターによって、EPOとの接触が多い・少ないの偏りがみられ、また、県によってはコーディネーターが1名のみとなっている県もある。
- そのため、主催イベントの企画等では、協働コーディネーターに加えて、環境省事業の採択団体との連携や、新たな人材・団体・自治体とのつながりを活用するなど、多様な形で積極的に地域と連携し、地域ニーズに即したイベント等の業務立案を行っていく必要がある。
- 特に協働コーディネーターとの連携イベントが少ない石川県、岐阜県、三重県（及び愛知県）は、地域ニーズの拾い上げを意識的・積極的に行う必要がある。

■ 「活動見える化プログラム」「SDGsチェックリスト」の活用について

- これらのツールは、EPO中部独自ツールとして業務の中で活用することが可能であり、SDGs活用・地域循環共生圏づくりの事例の蓄積と体系的な整理、新たな事例の掘り起こしに向けた活用が可能となっている。
- 一方で、環境省事業等におけるSDGs・地域循環共生圏関連のフェーズの進化に伴い、これらのツールも適宜対応して改良・改訂していく必要があり、活用と同時に検証にも留意していく必要がある。

③今後に向けて 2/2

■ 情報発信について

- 2020年度のEPO中部webサイトのリニューアルにあわせて、アクセス解析ツールを組み入れる予定であり、サイト内でのユーザー動向等をデータとして把握することが可能になる。
- このデータをもとに、webサイトの維持管理や小規模リニューアルを積み重ねるなどして、サイトの機能性向上やコンテンツの充実化、SNSを含めたネット活用を図っていくことが求められる。

■ そのほか

- EPO施設の利用促進のため、「withコロナ」も念頭においた今後のEPO利用のあり方を検討し、自ら提示・発信していく必要がある。
- 来館を伴う・伴わない相談対応、イベント(特にワークショップ等ワーキングを伴うプログラム)の開催方法などにおいて、2020年度は試行錯誤を繰り返してきた。オンライン配信など新たなツールやシステムの活用の可能性、他所での対応方法などに常にアンテナをはり、新型コロナ問題に関わらずEPOへの「コンタクト」のしやすさを工夫し、確保していく必要がある。